令和４年度(第 85 回)通常総会資料

日時　　令和４年２月 16 日(水曜日)　　10:00～11:15
場所　　オンライン形式（Zoom）

			頁
【監査報告】			1
【令和３年度の総括と令和４年度の目標】			2
【決議事項】			
第１号議案	令和３年度決算報告承認の件	定款第 39 条の１および２	3
第２号議案	令和４年度役員選任の件	定款第 23 条	10
第３号議案	名誉会員委嘱の件	定款第５条の５	11
【報告事項】			
報告１	令和３年度事業報告	定款第 39 条の１および２	12
	1. 令和３年度通常総会報告		12
	2. 会員動向報告		12
	3. 事業報告(公１:編集出版事業)		14
	4. 事業報告(公 2:研究会事業)		14
	5. 事業報告(公 3:表彰事業)		20
	6. 事業報告(他 1:共益事業)		22
報告２	令和４年度事業計画	定款第 38 条の２	25
報告３	令和４年度収支予算	定款第 38 条の２	28
報告４	永年会員昇格者	定款第５条の４	31
【参考資料】	(付表１) 令和３年度一般正味財産の構成表		32

公益社団法人 有機合成化学協会

令和４年２月 16 日

担当者	事務局長	会 長
八代	永井	

【監査報告】

監査報告書

私たち監事は、令和3年1月1日から令和3年12月31日までの事業年度における理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

（1）事業報告等の監査結果

一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

（2）計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

令和4年1月19日

公益社団法人有機合成化学協会
監事　砂塚 敏明

砂塚敏明

公益社団法人有機合成化学協会
監事　田上 克也

田上克也

公益社団法人有機合成化学協会
監事　竹之内 一弥

竹之内一弥

以上

令和３年度の総括と令和４年度の目標

令和３年度における各事業の概要、法人管理・運営状況と令和４年度の目標について説明する。

【令和３年度の課題と取り組み】

前年度(令和２年度)は、新型コロナウイルス感染症の影響により殆どの行事を計画通り実施することができなかったが、本年度は Zoom・Webinar に加えて Zoom・大規模ミーティングの配備を増強して本部、支部共有の形で、対象事業に積極的に活用した。さらにオンラインツール「oVice」を導入したことにより、他学会とは一線を画す内容でのオンライン配信を提供することができた。

各支部での Zoom の配備を通じて、オンラインによる各種会合や 100 名規模の行事も実施することができ、かなりの事業において再開を果たすことができた。ただし、完全対面式での行事開催はいまだ実施には至らず、会員の皆様には多大なご迷惑とご不便をお掛けした。

また昨年度、80 周年記念事業委員会を発足したものの、その後の具体的な計画が立てられず、令和 5 年 7 月に 80 周年記念事業開催という目標へ向けて、引き続き継続審議となっている。

【編集・出版事業】

有機合成化学協会誌は予定通り12号を刊行した。５月特集号「『有機合成のブレークスルー』合成反応の選択性制御によるブレークスルー」をテーマに、12 編の総合論文を掲載した。また、出版事業としては、「有機合成のための新触媒反応 101」を東京化学同人から 11 月に発行。協会誌の広告特集についてもテーマを増やして展開を図ることで増収を達成した。

【研究会事業】

前年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、第 118 回有機合成シンポジウムのみ会場とオンラインを組み合わせたハイブリッド形式で実施ができたが、それ以外はすべてオンライン形式での実施となった。

◆「有機合成シンポジウム」は、前年度に新型コロナウイルスの感染拡大の影響で会場開催ができずオンライン形式の実施としたものを、感染状況が落ち着いた今年度６月に「第 118 回有機合成シンポジウム(九州・山口支部主催)」として九州大学にて会場開催した。会場発表とオンライン発表の双方向で実施した。

一方、秋に予定していた「第 119 回有機合成シンポジウム」はオンライン形式で実施した。

◆「有機合成化学講習会」は春季、秋季ともにオンライン形式で６月、11 月にそれぞれ実施した。

◆「ＡＩ研究部会」、「ニューモダリティ研究部会」は、ともに公開講演会は実施できず、勉強会のみとなった。

◆「第 37 回有機合成化学セミナー(中国・四国支部主催)」は前年度に会場開催が叶わず、１年延期した事業だが、オリンピック開催中の８月に感染者数が急増となる事態を受けて、やむを得ずオンライン形式に切り替え実施した。Mukaiyama Award、招待講演、有機合成化学奨励賞の各講演とポスターセッションを 9 月に実施した。

その他、各支部主催の事業においても対面開催の中止の一方でオンライン開催を積極的に取り入れた。

【表彰事業】

令和３年度も、本会の表彰が揃い、内容的にも非常に高いレベルを維持した。本会の３賞、高砂香料国際賞「野依賞」と研究企画賞、および Mukaiyama Award は例年通り実施し、オンラインも併用した。また、企業冠賞は昨年同様５賞となった。

【相互交流】

新春特別フォーラム、ゆうごう会は実施できなかったが、YUGOKAFe はオンライン形式で実施した。

【財務環境】

令和 3 年度は、収益 100.2 百万円、 費用 103 百万円、収支▲2.8 百万円となった。

【令和４年度目標】

新型コロナウイルス感染症の終息がまだ見られない中、一定の感染防止策を施して、新春特別フォーラムは会場定員の上限を設定しつつ、オンラインの同時配信方式で実施した。さらに通常総会も会場定員を減らしオンライン同時配信の実施を予定している。その他各種事業も会場開催を目標にしつつ、オンラインを活用した方式を視野に入れている。一方、中期的には、オンライン化の利点を活かし支部の垣根を越えたボーダレスな参加スタイルを採り入れることで、協会の活動の活性化を図っていきたい。

【決議事項】

第１号議案　令和３年度決算報告承認の件

定款 39 条に定めるところにより、p.3～9 に示す諸表のとおり令和３年度決算書類を承認する。

表 1･1　令和３年度正味財産増減計算書

（令和3年1月1日から令和3年12月31日まで）　（単位：円）

科　目	R3決算 A	R3補正予算 B*	R2決算 C	A-B	A-C
【一般正味財産増減の部】					
１．経常増減の部					
経常収益	100,207,344	115,761,413	106,195,404	▲ 15,554,069	▲ 5,988,060
特定資産運用益					
特定資産受取利息	784,995	805,500	829,944	▲ 20,505	▲ 44,949
退職特定資産受取利息	582	3,000	7,359	▲ 2,418	▲ 6,777
受取会費					
正会員費受取会費	64,642,000	65,653,400	65,952,969	▲ 1,011,400	▲ 1,310,969
事業収益	30,984,402	42,226,700	28,919,577	▲ 11,242,298	2,064,825
編集出版事業収益	13,144,387	12,491,700	12,795,477	652,687	348,910
研究会事業収益	10,040,015	21,535,000	7,824,100	▲ 11,494,985	2,215,915
表彰事業収益	7,800,000	8,200,000	8,300,000	▲ 400,000	▲ 500,000
受取寄付金	3,709,547	6,350,000	9,055,728	▲ 2,640,453	▲ 5,346,181
共催分担金	730,000	1,150,000	730,000	▲ 420,000	0
国際賞基金	2,090,961	4,000,000	4,001,631	▲ 1,909,039	▲ 1,910,670
Mukaiyama Award基金	888,586	1,200,000	879,297	▲ 311,414	9,289
受取一般寄付金	0	0	3,444,800	0	▲ 3,444,800
雑収益	85,818	722,813	1,429,827	▲ 636,995	▲ 1,344,009
受取利息	818	2,813	827	▲ 1,995	▲ 9
雑収益	85,000	0	8,000	85,000	77,000
懇親会参加料収益	0	720,000	1,421,000	▲ 720,000	▲ 1,421,000
経常費用	102,968,249	125,683,573	104,712,042	▲ 22,715,324	▲ 1,743,793
事業費および管理費	102,968,249	125,683,573	104,712,042	▲ 22,715,324	▲ 1,743,793
編集出版事業費	22,310,844	24,436,982	23,973,937	▲ 2,126,138	▲ 1,663,093
研究会事業費	10,840,522	25,484,151	7,497,518	▲ 14,643,629	3,343,004
表彰事業費	10,764,859	12,678,777	12,558,619	▲ 1,913,918	▲ 1,793,760
給料手当	28,554,282	28,224,348	29,894,534	329,934	▲ 1,340,252
アルバイト費	2,505,002	2,510,000	2,484,999	▲ 4,998	20,003
退職給付費用	5,900,582	5,900,000	2,607,359	582	3,293,223
その他人件費（福利厚生費）	5,994,897	5,984,425	5,868,736	10,472	126,161
懇親会費	0	1,700,000	2,773,963	▲ 1,700,000	▲ 2,773,963
会議費	678,859	935,000	735,551	▲ 256,141	▲ 56,692
旅費交通費	509,492	2,165,000	968,026	▲ 1,655,508	▲ 458,534
通信費	666,325	1,346,500	1,105,783	▲ 680,175	▲ 439,458
什器備品費	384,230	700,000	739,960	▲ 315,770	▲ 355,730
事務用品･リース費	1,336,925	2,000,000	1,583,075	▲ 663,075	▲ 246,150
水道光熱費	124,104	290,000	176,759	▲ 165,896	▲ 52,655
事務所賃借料	4,826,890	4,826,890	4,393,400	0	433,490
諸謝金	1,210,000	1,200,000	1,210,000	10,000	0
雑費（税･手数料･会費･IT）	6,360,436	5,301,500	6,139,823	1,058,936	220,613
当期経常増減額	▲ 2,760,905	▲ 9,922,160	1,483,362	7,161,255	▲ 4,244,267
２．経常外増減の部					
経常外収益	0	0	0	0	0
経常外費用	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
3. 一般正味財産増減額					
一般正味財産期首残高	306,180,554	306,180,554	304,697,192	0	1,483,362
一般正味財産期末残高	303,419,649	296,258,394	306,180,554	7,161,255	▲ 2,760,905
【指定正味財産増減の部】					
1. 高砂香料国際賞「野依賞」基金					
特定資産運用益計	4,000,049	4,000,050	4,000,047	▲ 1	2
特定資産受取利息	49	50	47	▲ 1	2
受取寄付金	4,000,000	4,000,000	4,000,000	0	0
一般正味財産への振替額	▲ 2,013,984	▲ 4,000,000	▲ 4,001,631	1,986,016	1,987,647
当期指定正味財産増減額	1,986,065	50	▲ 1,584	1,986,015	1,987,649
指定正味財産期首残高	6,285,476	6,285,476	6,287,060	0	▲ 1,584
指定正味財産期末残高	8,271,541	6,285,526	6,285,476	1,986,015	1,986,065
2. Mukaiyama Award基金					
特定資産運用益計	65	100	75	▲ 35	▲ 10
特定資産受取利息	65	100	75	▲ 35	▲ 10
受取寄付金	0	0	0	0	0
一般正味財産への振替額	▲ 888,586	▲ 1,200,000	▲ 879,297	311,414	▲ 9,289
当期指定正味財産増減額	▲ 888,521	▲ 1,199,900	▲ 879,222	311,379	▲ 9,299
指定正味財産期首残高	6,382,420	6,382,420	7,261,642	0	▲ 879,222
指定正味財産期末残高	5,493,899	5,182,520	6,382,420	311,379	▲ 888,521
【正味財産】					
正味財産期末残高	317,185,089	307,726,440	318,848,450	9,458,649	▲ 1,663,361

＊ 新型コロナウイルス感染症の影響を補正；令和3年12月度理事会(2021/12/02)で承認済み。

表 1･2　令和 3 年度正味財産増減内訳表(1/3)

（令和3年1月1日から令和3年12月31日まで）　　（単位：円）

科　目	公益目的事業会計				その他事業	法人会計	合 計
	公１･編集･出版	公２･研究会	公３･表彰	公益事業共通			
【一般正味財産増減の部】							
１．経常増減の部							
経常収益計	13,145,612	10,770,560	10,762,772	51,067,180	2,739,260	11,721,960	100,207,344
特定資産運用益	1,225	545	783,225				784,995
編集出版特定資産受取利息	1,225						1,225
研究会特定資産受取利息		545					545
表彰特定資産受取利息			783,225				783,225
退職特定資産受取利息						582	582
受取会費				51,067,180	1,939,260	11,635,560	64,642,000
個人会員費受取会費				26,341,760	1,000,320	6,001,920	33,344,000
法人会員費受取会費				22,996,900	873,300	5,239,800	29,110,000
団体会員費受取会費				126,400	4,800	28,800	160,000
学生会員費受取会費				1,602,120	60,840	365,040	2,028,000
事業収益	13,144,387	10,040,015	7,000,000		800,000		30,984,402
編集出版事業収益	13,144,387						13,144,387
会誌事業収益	3,580,400						3,580,400
広告事業収益	9,345,050						9,345,050
別冊事業収益	54,300						54,300
会誌関係雑収益	54,000						54,000
単行本印税収益	110,637						110,637
複写権使用料収益							0
研究会事業収益		10,040,015					10,040,015
シンポジウム事業収益		5,365,515					5,365,515
講習会事業収益		4,234,500					4,234,500
懇談会事業収益		440,000					440,000
見学会事業収益							0
表彰事業収益			7,000,000		800,000		7,800,000
企業冠賞事業収益			7,000,000				7,000,000
研究企画賞事業収益					800,000		800,000
その他表彰事業収益							0
寄付金収益		730,000	2,979,547				3,709,547
受取寄付金		730,000	2,979,547				3,709,547
雑収益						85,818	85,818
受取利息						818	818
雑収益						85,000	85,000
懇親会参加料収益						0	0

表 1･3　令和 3 年度正味財産増減内訳表(2/3)

（令和3年1月1日から令和3年12月31日まで）　　（単位：円）

科　目	公益目的事業会計				その他事業	法人会計	合 計
	公１･編集･出版	公２･研究会	公３･表彰	公益事業共通			
経常費用	41,656,646	34,456,180	16,373,914		2,993,570	7,487,939	102,968,249
事業費	41,656,646	34,456,180	16,373,914		2,993,570		95,480,310
編集出版事業費	22,310,844						22,310,844
印刷製本費	10,754,700						10,754,700
用紙費	3,097,160						3,097,160
原稿料･校正費	683,274						683,274
編集費	194,960						194,960
送達費	6,518,500						6,518,500
別冊作成費	232,375						232,375
電子出版費	829,875						829,875
研究会事業費		10,837,522			3,000		10,840,522
シンポジウム費		5,407,269					5,407,269
講習会費		1,727,561					1,727,561
懇談会費		1,119,200			3,000		1,122,200
見学会事業費							0
研究会議費		102,885					102,885
事務委託費		2,340,607					2,340,607
支払寄付金		140,000					140,000
表彰事業費			10,645,143		119,716		10,764,859
表彰事業費			1,935,072				1,935,072
企業冠賞費用			5,730,524				5,730,524
研究企画賞費					119,716		119,716
国際賞費用			2,090,961				2,090,961
Mukaiyama Award事業費			888,586				888,586
給料手当	9,991,715	11,420,573	2,855,143		1,431,426		25,698,857
アルバイト費	973,945	1,113,222	278,306		139,529		2,505,002
退職給付費用	2,064,733	2,359,998	589,999		295,796		5,310,526
その他人件費（福利厚生費）	2,097,736	2,397,721	599,431		300,525		5,395,413
会議費	176,939	265,434	58,980		29,516		530,869
旅費交通費	103,198	154,814	34,399		17,215		309,626
通信費	179,736	269,630	59,912		29,983		539,261
什器備品費	115,257	172,904	38,419		19,227		345,807
事務用品･リース費	401,039	601,618	133,680		66,900		1,203,237
水道光熱費	37,229	55,849	12,410		6,210		111,698
事務所賃借料	1,447,925	2,172,105	482,642		241,538		4,344,210
雑費（税･手数料･会費･IT）	1,756,350	2,634,790	585,450		292,989		5,269,579

表 1･4　令和 3 年度正味財産増減内訳表(3/3)

（令和3年1月1日から令和3年12月31日まで）　　(単位：円)

科　目	公益目的事業会計				その他事業	法人会計	合 計
	公1･編集･出版	公2･研究会	公3･表彰	公益事業共通			
管理費						7,487,939	7,487,939
給料手当						2,855,425	2,855,425
退職給付費用						590,056	590,056
その他人件費（福利厚生費）						599,484	599,484
懇親会費用						0	0
会議費						147,990	147,990
旅費交通費						199,866	199,866
通信費						127,064	127,064
什器備品費						38,423	38,423
事務用品･リース費						133,688	133,688
水道光熱費						12,406	12,406
事務所賃借料						482,680	482,680
諸謝金						1,210,000	1,210,000
雑費（税･手数料･会費･IT）						1,090,857	1,090,857
当期経常増減額	▲ 28,511,034	▲ 23,685,620	▲ 5,611,142	51,067,180	▲ 254,310	4,234,021	▲ 2,760,905
2．経常外増減の部							
経常外収益	0	0	0	0	0	0	0
計上外費用	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
3.　一般正味財産増減額							
一般正味財産期首残高							306,180,554
一般正味財産期末残高							303,419,649
当期一般正味財産増減額							▲ 2,760,905
【指定正味財産増減の部】							
1.　高砂香料国際賞「野依賞」基金							
指定正味財産運用益			1,986,065				1,986,065
特定資産受取利息			49				49
受取寄付金			4,000,000				4,000,000
一般正味財産への振替額			▲ 2,013,984				▲ 2,013,984
指定正味財産期首残高			6,285,476				6,285,476
指定正味財産期末残高			8,271,541				8,271,541
2.　Mukaiyama Award基金							
指定正味財産運用益			▲ 888,521				▲ 888,521
特定資産受取利息			65				65
受取寄付金							
一般正味財産への振替額			▲ 888,586				▲ 888,586
指定正味財産期首残高			6,382,420				6,382,420
指定正味財産期末残高			5,493,899				5,493,899
【正味財産期末残高】							
正味財産期末残高							317,185,089

【参考】 表 1･5　主な科目の対予算･対前年度決算比較

科 目		R3 年度予算との差額(千円)		R2 年度決算との差額(千円)	
		収益	費用	収益	費用
受取会費収入		▲1,011	—	▲1,311*2	—
受取一般寄付金		—	—	▲3,445*3	—
事業	編集･出版	653	▲2,126	349	▲1,663
	研究会	▲11,495*1	▲14,644*1	2,216*4	3,343*4
	表彰	▲400	▲1,914	▲500	▲1,794*5
	会議費･旅費･通信費	—	▲2,592	—	▲955
	雑費	—	1,059*6	—	221*6

*1 新型コロナウイルス感染症による支部研究会事業の中止等による減少（支部予算は補正せず）。

*2 受取会費減収内訳：個人▲1,212 千円；法人▲300 千円；学生＋201 千円

*3 前年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響に対する支援給付金の受給のため(持続化給付金 2,000 千円；家賃支援給付金 1,440 千円)。

*4 研究会事業の実施回復による増加。

*5 前年度の野依賞受賞者の税務遅延により、2 年分の賞金支出のため。

*6 WEB 開催に必要なＩＴ関連費の増加と決済手数料の増加。

･費用の減少は、Web 会議実施による旅費交通費等や、電子化による郵送費等の減少による。

表 1･6 令和 3 年度貸借対照表

令和3年12月31日現在　　（単位：円）

科　目	当年度	前年度	増減
Ⅰ　資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	88,204,387	90,354,778	▲ 2,150,391
未収収益	407,620	105,264	302,356
前払金	164,823	341,067	▲ 176,244
仮払金	270,266	269,200	1,066
流動資産合計	89,047,096	91,070,309	▲ 2,023,213
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
編集出版事業特定資産	24,322,278	24,321,053	1,225
研究会事業特定資産	29,521,189	29,520,644	545
表彰事業特定資産	203,214,589	202,389,448	825,141
国際賞基金	8,271,541	6,285,476	1,986,065
Mukaiyama Award基金	5,493,899	6,382,420	▲ 888,521
退職給付引当特定資産	30,282,833	26,622,251	3,660,582
特定資産合計	301,106,329	295,521,292	5,585,037
(2) その他固定資産			
差入保証金	4,698,000	4,698,000	0
電話加入権	127,284	127,284	0
その他固定資産合計	4,825,284	4,825,284	0
固定資産合計	305,931,613	300,346,576	5,585,037
資産合計	394,978,709	391,416,885	3,561,824
Ⅱ　負債の部			
1. 流動負債			
未払金	732,977	293,775	439,202
前受金	44,902,100	44,398,600	503,500
預り金	1,638,524	1,242,809	395,715
仮受金	237,186	11,000	226,186
流動負債合計	47,510,787	45,946,184	1,564,603
2. 固定負債			
退職給付引当金	30,282,833	26,622,251	3,660,582
固定負債合計	30,282,833	26,622,251	3,660,582
負債合計	77,793,620	72,568,435	5,225,185
Ⅲ　正味財産の部			
1. 指定正味財産			
国際賞受託金	8,271,541	6,285,476	1,986,065
Mukaiyama Award基金	5,493,899	6,382,420	▲ 888,521
指定正味財産合計	13,765,440	12,667,896	1,097,544
（うち特定資産への充当額）	(13,765,440)	(12,667,896)	-(▲1,097,544)
2. 一般正味財産	303,419,649	306,180,554	▲ 2,760,905
正味財産合計	317,185,089	318,848,450	▲ 1,663,361
負債及び正味財産合計	394,978,709	391,416,885	3,561,824

表 1･7　令和 3 年度貸借対照表内訳表

令和3年12月31日現在　　（単位：円）

科　目	公益目的事業会計			その他事業会計	法人会計	合計
	編集･出版事業会計	研究会事業会計	表彰事業会計			
Ⅰ　資産の部						
1. 流動資産						
現金預金					88,204,387	88,204,387
未収収益			103,643		303,977	407,620
前払金					164,823	164,823
仮払金			190,080		80,186	270,266
流動資産合計	0	0	293,723	0	88,753,373	89,047,096
2. 固定資産						
(1) 特定資産						
編集出版事業特定資産	24,322,278					24,322,278
研究会事業特定資産		29,521,189				29,521,189
表彰事業特定資産			203,214,589			203,214,589
国際賞基金			8,271,541			8,271,541
Mukaiyama Award 基金			5,493,899			5,493,899
退職給付引当特定資産					30,282,833	30,282,833
特定資産合計	24,322,278	29,521,189	216,980,029	0	30,282,833	301,106,329
(2) その他固定資産						
差入保証金					4,698,000	4,698,000
電話加入権					127,284	127,284
その他固定資産合計	0	0	0	0	4,825,284	4,825,284
固定資産合計	24,322,278	29,521,189	216,980,029	0	35,108,117	305,931,613
資産合計	24,322,278	29,521,189	217,273,752	0	123,861,490	394,978,709
Ⅱ　負債の部						
1. 流動負債						
未払金			76,977		656,000	732,977
前受金	145,600	258,500			44,498,000	44,902,100
預り金					1,638,524	1,638,524
仮受金					237,186	237,186
流動負債合計	145,600	258,500	76,977	0	47,029,710	47,510,787
2. 固定負債						
退職給付引当金					30,282,833	30,282,833
固定負債合計	0	0	0	0	30,282,833	30,282,833
負債合計	145,600	258,500	76,977	0	77,312,543	77,793,620
Ⅲ　正味財産の部						
1. 指定正味財産						
国際賞受託金			8,271,541			8,271,541
Mukaiyama Award 基金			5,493,899			5,493,899
指定正味財産合計			13,765,440			13,765,440
（うち特定資産への充当額）			(13,765,440)			(13,765,440)
2. 一般正味財産	24,176,678	29,262,689	203,431,335	0	46,548,947	303,419,649
正味財産合計	24,176,678	29,262,689	217,196,775	0	46,548,947	317,185,089
負債及び正味財産合計	24,322,278	29,521,189	217,273,752	0	123,861,490	394,978,709

表 1･8　附属明細書

1．特定資産の明細　　（単位：円）

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
特定資産	編集出版事業特定資産	24,321,053	1,225	0	24,322,278
	研究会事業特定資産	29,520,644	545	0	29,521,189
	表彰事業特定資産	202,389,448	825,141	0	203,214,589
	国際賞基金	6,285,476	4,000,049	2,013,984	8,271,541
	Mukaiyama Award 基金	6,382,420	65	888,586	5,493,899
	退職給付引当特定資産	26,622,251	5,900,582	2,240,000	30,282,833
	特定資産計	295,521,292	10,727,607	5,142,570	301,106,329

2．引当金の明細　　（単位：円）

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	26,622,251	5,900,582	2,240,000	0	30,282,833

表 1･9 財産目録

令和3年12月31日現在

	貸借対照表科目	場所･物量等		使用目的等	金額（円）	
1	【流動資産】					1
2	預金	振替貯金		運転資金	5,730,998	2
3		普通預金	みずほ銀行神田支店	運転資金	34,650,693	3
4		普通預金	みずほ銀行神田支店	運転資金	2,380,877	4
5		普通預金	みずほ銀行神田支店	運転資金	50,001	5
6		普通預金	みずほ銀行神田支店	運転資金	16,436,065	6
7		普通預金	三井住友信託銀行本店営業部	運転資金	2,253,901	7
8		普通預金	三菱UFJ信託銀行上野支店	運転資金	143,578	8
9		普通預金	北海道支部	運転資金	1,051,578	9
10		普通預金	東北支部	運転資金	1,932,804	10
11		普通預金	関東支部	運転資金	6,050,479	11
12		普通預金	東海支部	運転資金	2,812,071	12
13		普通預金	関西支部	運転資金	5,530,724	13
14		普通預金	中国四国支部	運転資金	4,968,780	14
15		普通預金	九州山口支部	運転資金	4,211,838	15
16	未収収益				407,620	16
17	前払金				164,823	17
19	仮払金	現金	手元保管	運転資金	270,266	19
20	流動資産合計				89,047,096	20
21	【固定資産】					21
22	特定資産					22
23	編集事業特定資産	普通預金	三井住友信託銀行本店営業部	公益目的保有財産であり、運用益を編集･出版事業の財源として使用している	2,093,726	23
24		普通預金	みずほ銀行神田支店	公益目的保有財産であり、運用益を編集･出版事業の財源として使用している	2,228,552	24
25		定期預金	みずほ銀行神田支店	公益目的保有財産であり、運用益を編集･出版事業の財源として使用している	10,000,000	25
26		定期預金	三井住友信託銀行本店営業部	公益目的保有財産であり、運用益を編集･出版事業の財源として使用している	10,000,000	26
27	研究会事業特定資産	普通預金	みずほ銀行神田支店	公益目的保有財産であり、運用益を研究会事業の財源として使用している	4,521,189	27
28		定期預金	みずほ銀行神田支店	公益目的保有財産であり、運用益を研究会事業の財源として使用している	25,000,000	28
29	表彰事業特定資産	普通預金	三井住友信託銀行本店営業部	公益目的保有財産であり、運用益を表彰事業の財源として使用している	1,709,820	29
30		普通預金	三菱UFJ信託銀行上野支店	公益目的保有財産であり、運用益を表彰事業の財源として使用している	8,504,769	30
31		定期預金	三井住友信託銀行本店営業部	公益目的保有財産であり、運用益を表彰事業の財源として使用している	3,000,000	31
32		定期預金	三井住友信託銀行本店営業部	公益目的保有財産であり、運用益を表彰事業の財源として使用している	20,000,000	32
33			第326回利付国債	公益目的保有財産であり、運用益を表彰事業の財源として使用している	100,000,000	33
34			東京都公募公債第786回	公益目的保有財産であり、運用益を表彰事業の財源として使用している	50,000,000	34
35			千葉市平成29年度第3回公募公債	公益目的保有財産であり、運用益を表彰事業の財源として使用している	20,000,000	35
36	退職給付引当資産	普通預金	三井住友信託銀行本店営業部		3,122,833	36
37		定期預金	三井住友信託銀行本店営業部		27,160,000	37
38	国際賞基金	普通預金	みずほ銀行神田支店	公益目的保有財産であり、運用益を表彰事業の財源として使用している	8,271,541	38
39	Mukaiyama Award基金	普通預金	みずほ銀行神田支店	公益目的保有財産であり、運用益を表彰事業の財源として使用している	5,493,899	39
40	その他固定資産	差入保証金			4,698,000	40
41		電話加入金			127,284	41
42	固定資産合計				305,931,613	42
43	資産合計				394,978,709	43
44	【流動負債】					44
45	未払金				732,977	45
46	前受金				44,902,100	46
47	預り金				1,638,524	47
48	仮受金				237,186	48
49	流動負債合計				47,510,787	49
50	【固定負債】					50
51	退職給付引当金				30,282,833	51
52	固定負債合計				30,282,833	52
53	負債合計				77,793,620	53
54	正味財産				317,185,089	54

財務諸表に対する注記

1 .重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的債券　　償却原価法（定額法）

(2) 固定資産の減価償却の方法

法人税法に基づき一定額以下は費用処理している。

(3) 引当金の計上基準

退職給付引当金　従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。

(4) リース取引の処理方法

ファイナンスリース： リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンスリース取引については通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(5) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税込方式によっている。

2 .特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。　(単位：円)

科　　目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
編集出版事業特定資産	24,321,053	1,225	0	24,322,278
研究会事業特定資産	29,520,644	545	0	29,521,189
表彰事業特定資産	202,389,448	825,141	0	203,214,589
国際賞基金	6,285,476	4,000,049	2,013,984	8,271,541
Mukaiyama Award 基金	6,382,420	65	888,586	5,493,899
退職給付引当特定資産	26,622,251	5,900,582	2,240,000	30,282,833
合　　計	295,521,292	10,727,607	5,142,570	301,106,329

3 .特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。　(単位：円)

科　　目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
編集出版事業特定資産	24,322,278	0	24,322,278	
研究会事業特定資産	29,521,189	0	29,521,189	
表彰事業特定資産	203,214,589	0	203,214,589	
国際賞基金	8,271,541	8,271,541	0	
Mukaiyama Award 基金	5,493,899	5,493,899	0	
退職給付引当特定資産	30,282,833	0	0	30,282,833
合　　計	301,106,329	13,765,440	257,058,056	30,282,833

4 .満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。　(単位：円)

科　　目	帳簿価額	時　価	評価損益
国債	100,000,000	100,763,000	763,000
地方債	70,000,000	70,605,230	605,230
合　　計	170,000,000	171,368,230	1,368,230

5 .指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内　　容	金　額
経常収益への振替額	
国際賞事業費計上による振替額	2,013,984
MukaiyamaAward事業費計上による振替額	888,586
合　　計	2,902,570

第２号議案　令和４年度役員選任の件

本総会の終結をもって役員 13 名が退任となるので、定款 23 条に定めるところにより、役員候補者選出委員会において選出された役員候補者(表２)を参考にして、退任役員の後任として新任および重任役員(理事・監事；太字表記 13 名)を選任する。

表２　令和３年度役員および令和４年度役員候補者対照表（敬称略）

役 職 区 分	令和３年度(参考)		令和４年度		
	退任	留任	新任候補	重任候補	所属
会長・代表理事		秋山　隆彦			学習院大学
副会長・業務執行理事		宮田　博之			宇部興産(株)
副会長・業務執行理事	松原　誠二郎			**須貝　威**	慶應義塾大学
副会長・業務執行理事	満田　勝			**生頼　一彦**	日産化学(株)
常務理事(事務局長)	–	–	–	–	
理事(編集担当)	岩渕　好治		**荒井　孝義**		千葉大学
理事(編集担当)		生越　専介			大阪大学
理事(事業担当)	須貝　威		**高尾　賢一**		慶應義塾大学
理事(事業担当)		長澤　和夫			東京農工大学
理事	青木　一真			**青木　一真**	第一三共(株)
理事	家田　成		**朝倉　光博**		(株)ナード研究所
理事	古内　剛			**古内　剛**	Meiji Seika ファルマ(株)
理事	松田　英樹		**江口　久雄**		東ソー・ファインケム㈱
理事		森　敦紀			神戸大学
理事		袖岡　幹子			理化学研究所
理事		大野　充			(株)ダイセル
理事(北海道支部)		谷野　圭持			北海道大学
理事(東北支部)	徳山　英利		**服部徹太郎**		東北大学
理事(関東支部)	生頼　一彦		**草間　博之**		学習院大学
理事(関東支部)		南雲　紳史			工学院大学
理事(東海支部)		大井　貴史			名古屋大学
理事(関西支部)	南方　聖司		**白川　英二**		関西学院大学
理事(関西支部)		竹本　佳司			京都大学
理事(中国四国支部)		今田　泰嗣			徳島大学
理事(九州山口支部)	友岡　克彦		**桑野　良一**		九州大学
監事		砂塚　敏明			北里大学
監事		竹之内　一弥			帝人ファーマ(株)
監事	田上　克也		**満田　勝**		(株)カネカ
人　数	13	14	9	4	

第 3 号議案　名誉会員委嘱の件

定款第５条第５項および名誉会員の委嘱に係る内規２の１の定めに基づき、以下の会員に名誉会員を委嘱する。本案は令和 3 年 12 度理事会で名誉会員としての推薦を決議した。

表 3･1　令和 4 年度名誉会員推挙候補者(敬称略)

氏名 (年齢)	生年月日	称号・勤務先	推挙の事由
伊関 克彦 (70)	1951.06.08	東レ(株)技術センター 顧問	(1)会長経験者

表 3-2　名誉会員一覧(令和 4 年 2 月 16 日現在、委嘱年月日順、敬称略)

No.	氏 名	勤務先役職 or 称号(委嘱当時)	委嘱年月日	生年月日	会長	特別賞
1	E. J. Corey	ハーバード大学教授	1993.02.16	1928.07.12	ノーベル賞	
2	辻 二郎	東京工業大学名誉教授	2000.02.22	1927.05.11		1998
3	野依 良治	科学技術振興機構センター長	2002.02.19	1938.09.03	97-98	2000
4	吉田 善一	京都大学名誉教授	2003.02.18	1925.08.19		2001
5	鈴木 章	北海道大学名誉教授	2005.02.24	1930.09.12		2003
6	平岡 哲夫	元三共有機合成(株)代表取締役社長	2006.02.23	1935.08.05	03-04	
7	村井 眞二	大阪大学名誉教授	2006.02.23	1938.08.24	01-02	2004
8	村橋 俊一	大阪大学名誉教授	2008.02.20	1937.05.12		2006
9	岸 義人	ハーバード大学名誉教授	2010.02.19	1937.04.13		2009
10	中井 武	東京工業大学名誉教授	2011.02.18	1940.08.30	05-06	2014
11	白濱 晴久	北海道大学名誉教授	2012.02.17	1930.06.28		2011
12	竜田 邦明	早稲田大学名誉教授・栄誉フェロー	2013.02.19	1940.12.01		2012
13	玉尾 皓平	京都大学名誉教授	2014.02.20	1942.10.31		2013
14	山本 尚	シカゴ大学名誉教授	2014.02.20	1943.07.16		2013
15	迫田 良三	元日産化学工業(株)副社長	2014.02.20	1943.08.24	07-08	
16	大村 智	北里大学特別栄誉教授	2016.02.18	1935.07.12	ノーベル賞	
17	桑嶋 功	東京工業大学名誉教授	2016.02.18	1937.11.11		2015
18	薗頭 健吉	大阪市立大学名誉教授	2017.02.16	1931.12.5		2016
19	山本 嘉則	東北大学名誉教授	2019.02.14	1942.11.21		2018
20	福山 透	東京大学名誉教授	2019.02.14	1948.08.09	09-10	
21	櫻井 英樹	東北大学名誉教授	2020.02.19	1931.05.16		2019
22	柴﨑 正勝	(公財)微生物化学研究会理事長・所長	2020.02.19	1947.01.25		2010
23	佐藤 幸蔵	(株)NIL 代表取締役社長	2020.02.19	1949.03.08	15-16	
24	塩入 孝之	名古屋市立大学名誉教授	2021.02.17	1935.08.05		2020

その他

議案があれば挙手の上、提議してください。

【報告事項】

報告１　　令和３年度事業報告（令和３年１月１日から令和３年 12 月 31 日まで)

１．令和３年度通常総会(第 84 回)

- ✓ 令和３年２月 17 日　如水会館にて開催
- ✓ 構成員(代議員)98 名中、出席者 90 名(本人出席２；代理人出席０；委任状･書面表決 88)
- ✓ 決議事項

  第１号議案　『令和２年度決算報告承認』の件

  第２号議案　『令和３年度役員選任』の件

  第３号議案　『名誉会員委嘱』の件
- ✓ 報告事項

  報告１.　　『令和２年度事業報告』

  報告 2.　　『令和３年度事業計画報告』

  報告 3.　　『令和３年度収支予算報告』

  報告 4.　　『永年会員昇格者報告』

２．会員動向

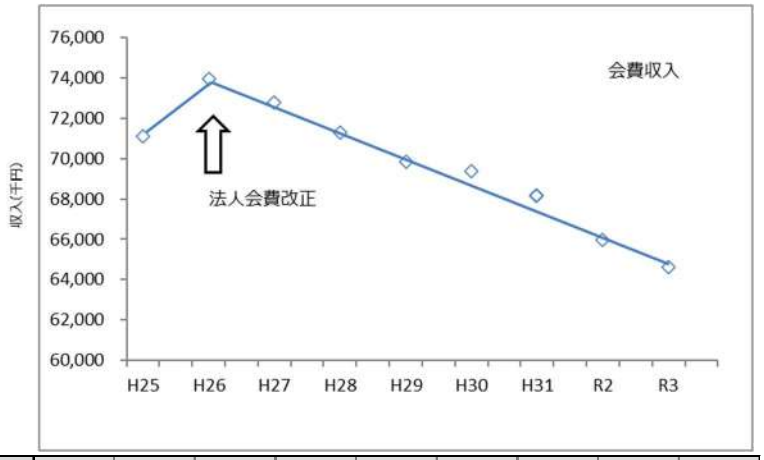
表４　会員数動向

区　分		R2 年末	入　会	復　活	退　会	区分変更		異動計	R3 年末
普通会員	個人	3,264	68	1	▲173	51	▲9	▲62	3,202
	法人	218	4		▲4			0	218
	団体	3						0	3
普通会員計		3,485	72	1	▲177	51	▲9	▲62	3,423
永年会員		170			▲9	8		▲1	169
名誉会員		24			▲1	1		0	24
学生会員		443	211	2	▲100		▲51	62	505
合　計		4,122	283	3	▲287			▲1	4,121

令和３年度は、研究会事業をオンライン中心で再開でき、学生会員の入会数が回復した。一方で個人会員の会員数の減少を抑えることはできなかった。

会費収入の経年変化

令和 3 年度の会費収入は、予算対比▲1,011 千円となった。前年度、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった研究会事業の再開により、学生会員は若干回復したが、個人会員は引き続き減少が続いている。



会員種別	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3
個人会員	41,427	40,535	39,688	38,488	37,237	36,643	35,261	34,556	33,344
法人会員	26,200	30,259	30,190	29,967	29,630	29,650	29,825	29,410	29,110
団体会員	160	160	160	160	160	160	160	160	160
学生会員	3,321	3,003	2,742	2,666	2,830	2,910	2,900	1,827	2,028
合計	71,108	73,957	72,780	71,281	69,857	69,363	68,146	65,953	64,642
前年との差	—	2,849	-1,177	-1,499	-1,424	-494	-1,217	-2,193	-1,311

3. 事業報告

令和 3 年度に実施した編集出版、研究会、および表彰の各事業について、表 5 のとおり報告する。

公 1・編集出版事業(14 頁)

公 2・研究会事業

シンポジウム

本部(14 頁)　北海道支部(14 頁)　東北支部(15 頁)　関東支部(15 頁)
東海支部(15 頁)　関西支部(16 頁)　中国四国支部(16 頁)　九州山口支部(17 頁)

講習会

本部(17 頁)　東北支部(18 頁)　関西支部(18 頁)

懇談会

本部(18 頁)　関東支部(19 頁)　東海支部(19 頁)
関西支部(19 頁)　中国四国支部(20 頁)　九州山口支部(20 頁)

見学会

本部 (20 頁)　九州山口支部(20 頁)

公 3・表彰事業

有機合成化学特別賞(20 頁)　有機合成化学協会賞・奨励賞(20 頁)
Mukaiyama Award(21 頁)　Lectureship Award(21 頁)
企業冠賞(21 頁)　高砂香料国際賞「野依賞」(21 頁)
支部表彰　関西支部(22 頁)　中国四国支部(22 頁)
九州山口支部(22 頁)

他 1・共益事業

ゆうごう会(22 頁)　研究企画賞(22 頁)

表 5･1　令和 3 年度事業報告（その 1）

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
公 1・編集出版事業	
有機合成化学協会誌	
第 79 巻第 1 号～12 号(12 冊)、発行部数 4,500 部、総貢数 1,322 普通号 10 回；特集号 2 回(第 5 号「『有機合成のブレークスルー』合成反応の選択性制御によるブレークスルー」；第 11 号 Special Issue in English) 掲載内容：巻頭言 12 頁(12 件)、総説 95(4)、総合論文 656(64)、Review de Debut 26(12)、ラウンジ 32(4)、ケミカルズ覚え書き 0(0)、十字路 11(44)、感動の瞬間・MyPR 52(14)、新しい合成 63(251)、会告・協会記事等 220、広告 153 (独)科学技術振興機構が運用する電子ウェブサイト(J-STAGE)に 2021 年度分を掲載。	
単行本の編集・出版	
「有機合成のための新触媒反応 101」 東京化学同人発行；有機合成化学協会編	
公 1 関連会議	
有機合成化学協会誌編集委員会(1/22, 3/18, 5/20, 7/13, 9/29)オンライン, (12/3)Web 併用	
公 2・研究会事業	
シンポジウム 【本部】	
第 118 回有機合成シンポジウム；6/23～6/24；九州大学・伊都キャンパス椎木講堂+オンライン (Zoom) 口頭発表 20 件(会場発表 12 件、オンライン発表 8 件)；ポスター発表(ショートプレゼンテーション有り)29 件(会場＋オンライン発表 14 件、オンラインのみ発表 15 件) 合計 49 件 共催：九州大学総合理工学府、日本化学会、日本薬学会	170(82)
第 119 回有機合成シンポジウム；11/9～11/10；オンライン(Zoom，oVice) 口頭発表 23 件；ポスター発表(ショートプレゼンテーション有り)14 件 合計 37 件 優秀発表賞 4 件、優秀ポスター賞 3 件表彰 共催：日本化学会、日本薬学会、早稲田大学理工学術院総合研究所	107(37)
シンポジウム 【北海道支部】	
第 33 回万有札幌シンポジウム；6/26；オンライン 招待講演 5 件、学生ポスター発表 21 件 1.ラジカル制御型有機触媒（金沢大医薬保健）大宮寛久 2.フロー・自動合成・機械学習を駆使する有機合成の未来（名大院創薬科学）布施新一郎 3.曲がった sp^2 炭素の有機合成化学（分子研）瀬川泰知 4.金属酵素の誤作動誘起と高難度物質変換（名大院理）荘司長三 5.抗体ー薬物複合体開発における有機化学（星薬大/東北大院薬）眞鍋史乃 主催：万有札幌シンポジウム組織委員会、協賛団体：公益財団法人 MSD 生命科学財団、共催他団体：日本化学会北海道支部、北海道大学大学院工学研究院フロンティア化学教育研究センター、北海道大学化学反応創生研究拠点 WPI-ICReDD	420(350)
日本化学会北海道支部 2021 年夏季研究発表会；7/17；オンライン 特別講演 2 件；一般講演 73 件 1.EPA と DHA の酸化と抗酸化（帯広畜産大産学連携セ）宮下和夫 2.直接的芳香族カップリング反応の新展開 （日本化学会筆頭副会長・大阪大学先導的学際研究機構）三浦雅博 主催：日本化学会北海道支部、共催他団体：日本分析化学会、高分子学会、触媒学会、日本エネルギー学会、石油学会 各北海道支部、日本セラミックス協会東北・北海道支部	189(109)
若手研究者のための有機化学札幌セミナー；11/17；オンライン 1.天然物合成を基盤とした創薬化学研究（北大院薬）勝山彬 2.アリールホスフィンの劇的な骨格変換を伴う光カップリング反応（北大院理）増田侑亮 3.結晶中の分子回転デザインと固体発光機能（北大 WPI-ICReDD）陳旻究 4.植物の防御応答関連物質の生成機構の解明（北大院農）北岡直樹 5.ホウ素アート錯体の 1,2-メタレート転位を活用するカップリング反応の開発(岡山大院自然科学)溝口玄樹	189(150)

表 5･2　令和 3 年度事業報告（その 2）

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
シンポジウム 【東北支部】	
第 32 回万有仙台シンポジウム；5/15；オンライン 主催：万有仙台シンポジウム組織委員会	543(386)
仙台地区春の講演会；6/19；オンライン 1.芳香環構築による高歪みπ共役分子の不斉合成（東工大物質理工）田中健 2.有機合成によるイノベーション～キラル中間体、フローケミストリー、ニューモダリティー（カネカ）満田勝 3.含窒素生物活性天然物の探索と全合成（千葉大名誉教授）高山廣光	146(95)
化学系学協会東北大会；10/2-3；オンライン 主催：日本化学会東北支部	208 (有機化学 115)
有機化学コロキウム；10/3；オンライン	40(-)
第 36 回有機合成化学若手研究者の仙台セミナー；12/4；オンライン 15 分講演：6 件、ショートトーク：6 件　口頭発表合計 12 件	173(130)
International Summer Seminar on Organic Chemistry；9/3；オンライン 【Plenary Lecture】Hosea Nelson（Univ. of California） 【Invited Speakers】熊田佳菜子（東北大）、川畑公輔（東北大） 【Oral＆Poster Session】15 件（Nanyang Technological Univ.学生のプレゼンを含む）	194(140)
シンポジウム 【関東支部】	
第 79 回有機合成化学協会関東支部シンポジウム(大岡山シンポジウム) 5/16；オンライン；特別講演 2 件、一般研究講演 51 件 1. 大環状ラクトンおよびラクタム類の全合成ならびに生命現象解析ツールとしての有機合成化学 （東京理大理）椎名勇 2.フォトレドックス触媒反応：フルオロアルキル化反応と高還元力触媒の開発（東工大化生研）穐田宗隆 共催：日本化学会、日本薬学会	197(116)
第 81 回有機合成化学協会関東支部シンポジウム(群馬・前橋シンポジウム) 11/27；オンライン；特別講演 2 件、一般研究講演 42 件 1.未来への準備～今、学生の皆さんに伝えたいこと～（日産化学）生頼一彦 2.ベンズイミダゾリンとベンズイミダゾリウムのレドックス特性に基づく光還元剤および光還元触媒の開発 （新潟大理）長谷川英悦	95(46)
若手研究者のためのセミナー；8/21；オンライン；講演 6 件 1.天然物の構造解析から学んだ有機合成（横浜市大院生命ナノ）入江樂 2.大環状金錯体を経由するシクロパラフェニレン類の効率的合成（東京理大理）土戸良高 3.有限長カーボンナノチューブ分子を用いた分子ベアリングの開発（東大院理）松野太輔 4.ハロゲン結合供与型触媒の合理的設計（千葉工大工）原口亮介 5.特異な立体配座を有する天然ポリフェノールの合成研究（東京農大生命科学）若森晋之介 6.脱芳香族化を伴うジアステレオ選択的な連続スピロ環化反応の開発（星薬大薬）横江弘雅	104(68)
シンポジウム 【東海支部】	
有機合成セミナー；6/1；オンライン 1.パラジウム触媒によるフッ化アシルを利用した分子変換反応～最近見出した反応から～ （東京理大理工）坂井教郎 2.ハーバー・ボッシュ法を超えるアンモニア合成法への挑戦（東大院工）西林仁昭 3.ベースメタルを利用する変換反応（阪大院工）生越専介	78(48)
若手研究者のためのセミナー；8/4；オンライン 【支部奨励賞受賞講演】 1.含窒素複素環を有する天然物の合成研究（静岡県大薬）大内仁志 2.計算科学・実験科学の融合によるアニオン性ホウ素クラスターの機能創出（信州大先鋭材料研）北沢裕 【招待講演】 1.タンパク質を全合成するための最先端分子技術（名大院工）林剛介 2.キラリティー転写反応：発見と展開（岐阜大工）村井利昭	70(35)

表 5･3　令和 3 年度事業報告（その 3）

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
ンポジウム 【東海支部】のつづき	
第 52 回中部化学関係学協会支部連合秋季大会特別討論会；10/30-31；静岡大学（オンライン） 【特別討論会】「明日を拓く有機化学」 ＜依頼講演＞ 1.C-H 活性化を鍵とする縮環 2-キノロンの新規合成法（名大院創薬科学）山本芳彦 2.不斉ハロゲン化と会合型触媒の可能性（静岡県大薬）濱島義隆 3.ヘテロ[8]サーキュレンの系統的合成法の開発および機能開拓（名大院工）三宅由寛 4.電子状態を合理的にデザインした NHC 型配位子群の創製と触媒反応への展開（岐阜大工）芝原文利 ＜招待講演＞ 1.ポットエコノミー、タイムエコノミーを志向した全合成（東北大理）林雄二郎 2.メカノケミカル有機合成：特長とこれからの展望（北大工）伊藤肇	520(312)
有機合成化学総合講演会；12/8；オンライン 1.歪んだ 3 価リン配位子が生み出す金属－配位子協奏反応（Univ. of California）田主陽 2.Arenophile を用いた脱芳香族的官能基修飾化反応の開発（Genentech, Inc.）奥村美樹子 3.電気化学を用いた新規合成反応開発（Scripps Research Institute）川又優	84(45)
シンポジウム 【関西支部】	
第 41 回有機合成若手セミナー「明日の有機合成を担う人のために」(若手研究者のためのセミナー) 8/4；オンライン；若手研究発表 67 件 1.ビアリール型人工アミノ酸の創製を起点とする触媒開発（京都薬大）古田巧 2.分子の形と元素の性質が奏でる多彩な光機能有機分子材料（阪大院工）武田洋平 3.蛋白質ラベル化に基づくペプチド系天然物生合成のケミカルバイオロジー研究（近畿大薬）石川文洋 4.〔招待講演〕遷移金属触媒を用いる新規カップリング反応の開発（阪市大院理）佐藤哲也 5.〔招待講演〕オピオイド副作用緩和薬ナルデメジンの創製（塩野義製薬）稲垣雅尚 6.〔招待講演〕がん細胞可視化のためのアクティベータブルプローブの開発と応用（京大院工）大江浩一	254(181)
2021 年度有機合成化学北陸セミナー；9/29；オンライン；発表件数(口頭)37 件 1.カルボン酸とアルコールを活性化する触媒反応の開発（京大院薬）竹本佳司 2.結合と非結合の狭間で：一重項ビラジカル種に関する最近の研究（阪大院理）久保孝史 3.求められる有機合成のサービスを提供するために（ナード研究所）朝倉光博 4.ヨウ素を活用する酸化的有機合成反応（阪大院工）南方聖司	156(124)
シンポジウム 【中国･四国支部】	
若手研究者のためのセミナー(第 36 回若手化学者のための化学道場)	中止
第 37 回有機合成化学セミナー；9/15-17；オンライン 【Mukaiyama Award 受賞講演】 1.New Synthetic Methods for C-F Bond Formation: From Fundamental Science to Applications（Univ. of Michigan）Melanie S. Sanford 2.ラジカル制御型有機触媒（金沢大医薬保健）大宮寛久 【Lectureship Award 受賞講演】 1.Amping Up Organic Synthesis with Electricity : An Electrocatalytic Approach to Reaction Discovery（Cornell Univ.）Song Lin 【招待講演】 1.生物機能の解明を目指した天然物の網羅的合成（名大院生命農）西川俊夫 2.水素結合を戦略的相互作用とする有機分子触媒の創製～強酸･強塩基への展開～ （東北大院理）寺田眞浩 3.計算化学から着想した新しい機能性化合物の開発と実用化（コニカミノルタ）北弘志 4.結晶スポンジ法：有機合成、天然物化学、創薬研究への応用（東大院工）藤田誠 5.HIV-1 インテグラーゼ阻害薬ドルテグラビルナトリウムの効率的合成法の開発（塩野義製薬）安酸達郎 6.リン原子、硫黄原子が鍵となる反応開発、機能性分子開拓（岐阜大工）村井利昭 7.光エネルギーを促進力として利用する合成反応（京大院工）村上正浩 次ページへつづく	124(42)

表 5･4　令和 3 年度事業報告（その 4）

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
前ページのつづき 【有機合成化学奨励賞受賞講演】 1.N-混乱ポルフィリノイドを基体とする近赤外光機能性色素の創製（九大院工）石田真敏 2.固体および分子の空間特性を活かした遷移金属錯体触媒の設計（東大院総合文化）岩井智弘 3.スルホニル基の特性を活かした新規分子構築法の開発（名大ﾄﾗﾝｽﾌｫｰﾏﾃｨﾌﾞ生命分子研）南保正和 4.高周期典型金属の 2 つの特性「中程度ルイス酸性」と「π 電子親和性」を活かした有機金属化合物の合成（阪大院工）西本能弘 5.無保護ケチミンを活用した環境調和型新規触媒的含窒素化合物合成手法の開発（九大院薬）森本浩之	
シンポジウム 【九州・山口支部】	
第 33 回若手研究者のためのセミナー；8/21；オンライン；世話人：松本崇弘（九大院工） 特別講演 1 件 有機金属化学・錯体化学・生化学をつなぐ金属-硫黄クラスター錯体（京大化研）大木靖弘 招待講演 1 件 ヘテロポルフィリンの化学と反芳香族性（九大院工）清水宗治 受賞講演（ポスター賞）4 件、ポスター発表（招待発表）4 件、（一般発表）3 件、企業紹介 1 件	90(58)
講習会 【本部】	
2021 年度前期(春季)有機合成化学講習会；6/30；オンライン(Zoom) テーマ：有機合成化学と関連科学技術の討論にハマり、梅雨気分を一掃しよう！ ◇講義 1.合成終盤での官能基化を鍵とする多環性アルカロイドの合成戦略（東北大院薬）徳山英利 2.microED および固体 NMR を用いたマイクロ結晶の構造解析（理研・JEOL RESONANCE）西山裕介 3.生合成から高度な骨格変換を学ぶ；植物アルカロイドの樹形図型全合成（千葉大院薬）石川勇人 4.SDGs を志向した有機反応化学と工業化プロセス（三菱ケミカル）井澤雄輔 5.キラルブレンステッド酸触媒の開発と新展開（学習院大理/本会会長）秋山隆彦 ◇講師とのグループディスカッション 共催：日本化学会、日本薬学会	36(6)
2021 年度後期(秋季)有機合成化学講習会；11/25；オンライン(Zoom，oVice) テーマ：有機合成化学と関連科学技術の討論を極め、秋雨や寒波を乗り越えよう！ ◇講義 1.ペプチド分解酵素によるアミノ酸同士の結合（鳥取大農）有馬二朗 2.光酸発生剤と先端フォトポリマー材料への応用（富士フイルム）土村智孝 3.新規探索法による生物活性天然物の開拓：魚釣り法と微生物－動物細胞共培養法（慶大理工）荒井緑 4.メカノケミカル有機合成の展開と使い方（北大院工）伊藤肇 5.C(sp^3)-H 結合の直接官能基化と位置選択性の制御：極性支配ラジカル反応による革新（阪府大・台湾国立陽明交通大）柳日馨 ◇講師とのグループディスカッション 共催：日本化学会、日本薬学会	28(5)
「AI と有機合成化学」研究部会　第 7 回勉強会；7/16；オンライン(Zoom) 1.Automation Solutions for Reaction Screening and Optimization（Unchained Labs.）Ruja Shrestha 2.合成の自動化－理想と現実（京大院工）松原誠二郎	113(2)
「AI と有機合成化学」研究部会　第 8 回勉強会；12/9；オンライン(Zoom) 1.『デジタル有機合成』の概要と目指すもの（九大院薬）大嶋孝志 2.産総研のマテリアル・プロセスイノベーションプラットフォーム構築に向けた取り組みについて（産総研）矢田陽	111(2)
「ニューモダリティと有機合成化学」研究部会　第 5 回勉強会；8/19；オンライン(Zoom) 1.有機化学を基盤とする核酸医薬へのアプローチ（名大院理）阿部洋	86(2)

表 5･5　令和 3 年度事業報告（その 5）

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
前ページの続き 2.IDP 模倣技術を用いた創薬（大分大学先端医学研究所）小路弘行 3.タンパク質分解を誘導する化合物（東大院薬）内藤幹彦	
「ニューモダリティと有機合成化学」研究部会　第 6 回勉強会；12/22；オンライン(Zoom) 1.AJIPHASE®技術でのオリゴ核酸の大量製造（味の素）高橋大輔 2.糖タンパク質の精密合成を利用する N 型糖鎖の機能解明（阪大院理）梶原康宏 3.次世代抗体開発と物理化学（東大医科研）津本浩平	91(2)
講習会 【東北支部】	
福島地区講演会；11/27；日本大学工学部 70 号館 7044 教室 1.イオン性基を有するケイ素系高分子材料の創製（日大工）市川司 2.海洋シアノバクテリア由来新規キヌレニン産生阻害物質の単離と合成研究（工学院大先進工）大野修	43(31)
秋田地区講演会；12/10；オンライン 1.薬の新しいモダリティ：タンパク質分解創薬と iPS 分子創製への取り組み（星薬大薬）叶直樹 2.生物活性を有する大環状中分子天然物の合成展開（長崎大院医歯薬）石原淳	27(22)
講習会 【関西支部】	
有機合成 2 月セミナー「有機合成のニュートレンド 2021」；2/5；オンライン 1.均一系遷移金属錯体触媒を活用する二酸化炭素を用いた有機合成反応（京大院工）藤原哲晶 2.日本酒で美味しく、すこやかに（月桂冠）堤浩子 3.ホウ素とπ電子系のインタープレイに基づく物質変換反応と機能化学（東工大科技創成）庄子良晃 4.複素芳香環の特性を生かして非ベンゼン系共役電子系の魅力を引き出す（京大 iCeMS）深澤愛子 5.機械学習と有機合成化学（阪大産研）笹井宏明	268(179)
有機合成夏期セミナー「明日の有機合成化学」；8/30；オンライン 1.特異な生物活性を有する大環状中分子天然物の効率的全合成（長崎大生命医）石原淳 2.細胞接着に関する表面科学の応用とその展望～社会課題の解決に向けて～（ダイキン）小泉美子 3.キャタリストインフォマティクス：触媒化学×人工知能による触媒設計（産総研）矢田陽 4.構造有機化学からバイオプローブへ、ガン治療へ（北大院理）鈴木孝紀 5.家庭防疫用ピレスロイドの新たな展開（住友化学）森達哉 6.メカノケミカル有機合成は何ができるのか？（北大院工）伊藤肇	239(167)
懇談会 【本部】	
2021 新春特別フォーラム；1/15；ワイム貸会議室お茶の水・山の上ホテル(本館) 共催：有機合成化学協会関東支部	中止
中堅・若手リーダーのための YUGOKAFe[ユウゴウカフェ](講演＆討論会)；11/22；オンライン(Zoom, oVice) [第Ⅰ部：講演] 講演(1)「研究遺伝子と人材育成を考える」／講演(2)講師と参加者との対話形式（三井化学/本会前会長）諫山滋 [第Ⅱ部：グループ討論] [第Ⅲ部：情報交換・交流会]	29(0)
学生のためのセミナー(企業の若手研究者との討論・交流会)・第 6 弾；12/10；オンライン(Zoom) Ⅰ.パネラーのプレゼンテーション 1.メディシナルケミストの仕事とは～アステラス製薬での創薬研究～（アステラス製薬）戸谷博希 2.有機合成化学からプロセス化学へ～創薬におけるプロセスケミストのミッション～（エーザイ）村上景一 3.自己紹介と農薬の研究（住友化学）大下純 4.武田薬品におけるメドケムのひとつの例（武田薬品工業）佐々木悠祐 5.日産化学の有機合成～合成研究部の事例紹介～（日産化学）梅田康広 6.企業での研究～業務紹介、思うこと～（三井化学）高宮郁子 Ⅱ.ブース形式懇談会 Ⅲ.全体総括	27(27)

表 5･6　令和 3 年度事業報告（その 6）

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
懇談会 【本部】のつづき	
2019 年度企業冠賞受賞講演会；1/27；オンライン(Zoom)；受賞講演 5 件 1.【カネカ・生命科学賞】有機合成化学を基盤とするテルペン系天然物の生合成および生物機能の解明 （阪市大院理）品田哲郎 2.【シオノギ・低分子創薬化学賞】特異な生物活性をもつ天然物の全合成と構造決定 （東北大院薬）土井隆行 3.【東ソー・環境エネルギー賞】マイクロリアクターの特長を活かした環境調和型の精密高速合成化学 （京大院工）永木愛一郎 4.【日産化学・有機合成新反応／手法賞】機能性有機化合物の合成に資する鉄触媒クロスカップリング反応の開発（京大化研）中村正治 5.【富士フイルム・機能性材料化学賞】クロスカップリングを用いるπ共役系有機分子の効率的合成と電子デバイスへの応用（岡山大・異分野基礎科学研）西原康師	360(32)
令和 2 年(2020 年)度企業冠賞受賞講演会；10/28；オンライン(Zoom)；受賞講演 5 件 1.【富士フイルム・機能性材料化学賞】剛直平面炭化水素分子 COPV の開発（神奈川大理）辻勇人 2.【日産化学・有機合成新反応／手法賞】sp^3 炭素-水素および炭素-ホウ素結合の触媒的高効率変換反応の開発（京大院工）大村智通 3.【カネカ・生命科学賞】複合糖質の均一合成による高機能化合物創成研究 （星薬大/東北大薬）眞鍋史乃 4.【シオノギ・低分子創薬化学賞】免疫調節性分子の合成と免疫制御機能の解明 （慶大理工）藤本ゆかり 5.【東ソー・環境エネルギー賞】無溶媒触媒反応を基軸とする環境調和型有機合成 （岡山大院自然科学）依馬正	198(16)
懇談会 【関東支部】	
有機合成化学ミニシンポジウム①；4/16；オンライン 1.化学・情報科学の融合による新化学創生に向けて―AI 技術・自動合成技術を基盤とする新化学創成― （北里大大村智記念研客員教授）高橋孝志	139(82)
有機合成化学ミニシンポジウム②	中止
有機合成化学ミニシンポジウム③(ミニシンポジウム千葉 2021)；11/15；オンライン 1.新規触媒反応の開発と有機合成への応用（北里大薬）牧野一石 2.プロセスケミストリーが果たすヒューマン・ヘルスケアへの貢献（エーザイ）栢野明生 3.触媒的不活性結合官能基化の新展開（慶大理工）垣内史敏	109(74)
有機合成化学ミニシンポジウム④	中止
合同ミニシンポジウム「学生シンポジウム－地上の星を探せ－」；10/16；オンライン 1.協働金属触媒による有機合成反応（京大院工）中尾佳亮 2.人工中分子ペプトイドの立体配座制御とタンパク質リガンド設計への展開（東大院工）森本淳平 3.学生スタッフによるミニセッション；（工学院大院工）室川俊介；（北里大感染制御）齋藤亮 4.ボロン酸の特性を活用した有機合成手法の開発（北里大薬）嶋田修之 5.極性転換型インドール試薬の開発と応用（岡山大院医歯薬）阿部匠 6.低原子価金属による一電子還元反応を基盤とした生物活性天然物の合成研究(明治薬大薬)高取和彦	167(54)
有機合成化学談話会(湯河原セミナー)	中止
懇談会 【東海支部】	
訪日学者講演会	中止
懇談会 【関西支部】	
有機合成新春講演会；1/18；オンライン 1.芳香族化合物の遷移金属触媒反応（阪大院工）三浦雅博 2.高反応性セレノアルデヒドの生成からセレノ糖骨格構築への応用まで（金沢大理工）千木昌人 3.遠隔位不斉誘導における５オングストローム仮説：動的不斉、動的分子認識制御に向けたアプローチ （京大化研）川端猛夫	128(12)
セミナー化学千一夜「明日の化学への夢を語ろう」	中止

表 5･7　令和 3 年度事業報告（その 7）

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
懇談会 【中国･四国支部】	
第 81 回パネル討論会	中止
有機合成ミニシンポジウム 2021；5/22；オンライン 1.構造制御による典型金属反応剤の創成と反応（阪大院工）安田誠 2.分子を創り、振舞いを理解する：触媒機能から生物活性まで（WPI-ITbM･名大院工）大井貴史 3.海洋産天然物の収束的合成研究（岡山大院自然）門田功	163(113)
来日学者講演会	中止
第 18 回ナノ･バイオ･インフォ化学シンポジウム；12/13-15；オンライン 口頭発表（A）（20 分）、口頭発表（B）（15 分） 主催：ナノ･バイオ･インフォ化学研究会、日本化学会	-(-)
懇談会 【九州･山口支部】	
第 58 回化学関連支部合同九州大会；7/3；オンライン 特別講演 1 件；招待講演 8 件 【有機化学講演】特異な構造を有する生物活性天然物の全合成（長崎大生命医）石原淳 ポスター発表 101 件 主催：化学関係九州支部 担当：化学工学会九州支部	743 (発表件数 554)
第 1 回有機合成化学講演会；6/4；オンライン；世話人：内田竜也（九大基幹）；招待講演 3 件 1.キラル有機イオン対の触媒化学（北大触媒研）浦口大輔 2.タンパク質金属配位子を使った反応制御（大阪府大院生命環境科学）藤枝伸宇 3.遷移金属触媒と有機ホウ素の相乗効果を活用した炭素-炭素結合切断反応と形成反応 （長崎大院工）木村正成	98(53)
第 2 回有機合成化学講演会；11/19；山口大学常盤キャンパス+オンライン併用； 世話人：内田竜也（九大基幹）；招待講演 3 件 1.化学資源変革を目指した有機合成：鐵と森林で明るい未来を！（京大化研）中村正治 2.新規な有機ヘテロ元素化合物の遷移金属触媒合成と機能開発（九大院農）有澤美枝子 3.ヒドロキノン二量体を使った新規材料の創成探索（山口大院創成科学）上村明男	170(131)
来日学者講演会	中止
見学会	
本部；九州山口支部：実施なし	
公 2 関連会議	
有機合成化学協会事業委員会； 5 回(3/17,5/13,7/15,10/5,12/7)；オンラインまたは化学会館+オンライン(併用) 第 119 回有機合成シンポジウムプログラム編成会議；1 回(7/15)；オンライン 中堅･若手リーダーのための YUGOKAFe 企画委員会； 1 回(11/1)；オンライン	
公 3．表彰事業	担当機関
有機合成化学特別賞の選考と受賞者(1 件採択)	
理事による候補者推薦；6～8 月郵便による投票	理事会
理事によって推薦された候補者からの受賞者選考；10/19；オンライン ●福山透（東大名誉教授）業績：天然物の全合成と新規反応開発 表彰式･受賞講演(R４.2/16)	賞選考 委員会
有機合成化学協会賞･奨励賞の選考と受賞者(協会賞：2 件；奨励賞：5 件採択)	
各支部推薦委員会；～7 月	賞選考 委員会
奨励賞書面審査；実施	
協会賞(学術/技術)･奨励賞選考委員会；10/18～10/19；オンライン	
有機合成化学協会賞(学術的なもの) ●村井利昭（岐阜大工）業績：典型元素不飽和結合を軸とする反応開発と機能性分子創出への展開 ●山田徹（慶大理工）業績：二酸化炭素の資源化を指向する触媒的精密有機合成反応の開発 有機合成化学協会賞(技術的なもの)；該当なし	

表 5･8　令和 3 年度事業報告（その 8）

事業の名称および事業の概要	参加者数 総数(学生数)
前ページのつづき 有機合成化学奨励賞 ●石垣侑祐（北大院理）業績：レドックス化学による高歪有機分子の構築と機能開拓 ●重野真徳（東北大院薬）業績：高活性ブレンステッド塩基が拓く炭素－水素・炭素－酸素結合の直截的分子変換 ●林剛介（名大院工）業績：新規ペプチド連結化学に基づくタンパク質の精密全合成 ●真鍋良幸（阪大院理）業績：精密合成を基盤とした糖鎖機能解析・制御分子の創製とその利用 ●山本武司（京大院工）業績：不斉合成を変革する動的らせん高分子触媒の開発 表彰式(R4.2/16) 受賞講演：協会賞(学術的なもの：R4.2/16) 奨励賞(R4.日時未定)	
Mukaiyama Award の選考と受賞者(国内および海外各 1 件採択)	
Mukaiyama Award 委員会；2022 受賞者選考委員会 8/30；オンライン ●吉戒直彦（東北大院薬） The development of synthetic methodologies using unconventional building blocks and innovation in the synthesis of complex molecules. ●Neil K. Garg（University of California, Los Angeles, U.S.A.） The development of synthetic methodologies using unconventional building blocks and innovation in the synthesis of complex molecules. 表彰式・受賞講演；R4.日時未定	Mukaiyama Award 委員会
Lectureship Award	
●Song Lin（Cornell University,USA） Amping Up Organic Synthesis with Electricity : An Electrocatalytic Approach to Reaction Discovery 表彰式・受賞講演；R3.9/15～17（2020-2021 年度）	中国四国支部
企業冠賞の選考と受賞者(各 1 件、合計 5 件採択)；書面審査(郵便；～11/20)	
カネカ・生命科学賞 ●有本博一（東北大学）業績：標的選択的なオートファジー制御技術の開発 シオノギ・低分子創薬化学賞 ●大栗博毅（東京大学）業績：生合成プロセス拡張による骨格多様化合成法の開発と創薬リード創製 東ソー・環境エネルギー賞 ●鳶越恒(九州大学) 業績：電解および光レドックスシステムを用いた環境調和型物質変換システムの開発 日産化学・有機合成新反応／手法賞 ●中村達（東北大学）触媒的骨格転位反応を基盤とする新合成手法の開発 富士フイルム・機能性材料化学賞 ●岡本敏宏（東京大学）高性能かつロバストな p 型および n 型有機半導体の開発 表彰式(R4.2/16)；受賞講演(R4.日時未定・オンライン)	企業冠賞選考委員会
高砂香料国際賞「野依賞」関連	
野依賞委員会；2021 受賞者選考委員会 8/30；オンライン ●Erick M. Carreira（ETH-Zürich, Switzerland.） Professor Carreira's research program is well known for its scientific depth and thematic breadth. Over the past three decades Carreira has successfully established himself in various areas, including natural products synthesis, methodology, asymmetric catalysis, medicinal chemistry, and chemical biology. In catalysis Carreira has developed concepts leading to a variety of metal-based catalysts for a wide range of catalytic, enantioselective aldehyde addition reactions, alkyne activation, conjugate addition reactions, cycloadditions, and allylation reactions. Carreira has pioneered the use of chiral olefins as steering ligands for catalytic enantioselective catalysis with Ir- and Rh- complexes. He also developed olefin functionalization reactions with cobalt and	野依賞委員会

表 5･9　令和 3 年度事業報告（その 9）

事業の名称および事業の概要	担当機関
前ページのつづき manganese catalysts, enabling synthesis of organochlorides, azides, hydrazides, nitriles. The work served to inspire subsequent developments in what is termed as HAT chemistry, widely employed in the service of complex molecule synthesis. A family of Ir[P,olefin] complexes enabled the identification of fully stereodivergent, dual-catalytic, enantioselective transformations, providing convenient access to the full range of stereochemical diversity of products from the same set of starting materials under identical conditions. 表彰式･受賞講演；R4.2/16	
支部表彰	
【関西支部】 第 19 回支部賞授賞講演会；11/9；オンライン 1.直鎖分子からの環骨格一挙構築を基盤とした天然物合成戦略（阪市大院理）西川慶祐 2.安定化有機ラジカルに基づく共有／非共有結合の機能化（阪大院理）平尾泰一 3.多様な生物活性天然物の網羅的全合成と溶媒に着眼した環境調和有機合成法に関する研究（大阪工大工）小林正治	80(18)
【中国･四国支部】 有機合成化学特別講演会「支部奨励賞受賞講演並びに特別招待講演会」；11/20；オンライン 【支部奨励賞受賞講演】 分子内電荷移動相互作用の自在制御による光機能材料の創出（高知工大環境理工）伊藤亮孝 環性骨格の特性を活かした新規π共役系化合物の開発と性質解明（愛媛大学術支援センター）森重樹 【特別招待講演】 ホウ素あるいはスズを含む有機典型金属化合物：合成反応と変換反応（広島大院先進理工）吉田拡人	131(94)
【九州･山口支部】支部各賞表彰式	中止
【九州･山口支部】 第 31 回万有福岡シンポジウム；6/4-5；九州大学椎木講堂+オンライン併用；支部ポスター賞（2 名） 主催：万有福岡シンポジウム組織委員会	
他 1･共益事業	
ゆうごう会	
ゆうごう会（東京；大阪）	中止
海外視察団派遣	
海外視察団派遣；実施なし	
技術アドバイス事業	
技術アドバイス事業；申請なし	
研究企画賞	担当機関
研究企画賞選考委員会；11/17；オンライン；21 件採択	研究企画賞 選考委員会
● 味の素研究企画賞：高山亜紀（東北大学） アミノホスホニウム塩を窒素源とした N-メチルアミド合成法の開発 ● 関東化学研究企画賞：若森晋之介（東京農業大学） 立体配座制御による開環重合を用いた環状オリゴ糖の化学合成 ● コニカミノルタ研究企画賞：太田英介（早稲田大学） 可視光とジルコノセンを利用した環状エーテル開裂反応の開発 ● 塩野義製薬研究企画賞：佐藤英祐（岡山大学） 触媒的陽極酸化によって進行する転位反応の開発と機械学習による最適化 ● 第一三共研究企画賞：長友優典（東京大学） 「逆」生合成経路に基づく稀少海洋産ノルジテルペン類の網羅的全合成戦略の確立 ● 大正製薬研究企画賞：岡村秀紀（東北大学） 光感受性オキシムの特異な反応性を利用した分子内環化反応の開発と光薬物療法への応用	

表 5･10　令和 3 年度事業報告（その 10）

事業の名称および事業の概要	担当機関
前ページのつづき ● ダイセル研究企画賞：重田雅之（東京工業大学） 新たなプロドラッグ戦略の開発に向けた離分解性配糖体の合成 ● 田辺三菱製薬研究企画賞：北村圭（徳島文理大学） ビススルホニル化合物に対するキラルアルコールの逐次集積法の開発 ● 中外製薬研究企画賞：兒玉拓也（大阪大学） 革新的触媒反応を指向した開殻典型元素フェナレニル錯体の開発 ● DIC 研究企画賞：今任景一（広島大学） 大きな構造変化と熱安定性、高い光異性化率を兼ね備えた理想的な分子スイッチの開発 ● 帝人ファーマ研究企画賞：大多和正樹（北里大学） ブテノリドの性質を巧みに利用する新規反応開発とジベレリン類の超効率的全合成研究 ● 東ソー研究企画賞：中室貴幸（東京大学） 結晶化を必要としない微小結晶構造解析による有機合成化学研究への貢献 ● 日産化学研究企画賞：土井良平（大阪大学） データサイエンスを活用した高活性遷移金属錯体触媒の開発 ● 日本触媒研究企画賞：永島佑貴（東京工業大学） 光励起がもたらす「ジラジカル種」の活用：高度に多元素化された有機化合物の統一的合成 ● 富士フイルム研究企画賞：奥村慎太郎（分子科学研究所） 二酸化炭素による活性化を利用したカルボニル化合物の光触媒的極性転換 ● 富士フイルム和光純薬研究企画賞：Minh Anh Truong（京都大学） 高性能ペロブスカイト太陽電池のためのマルチポッド型単分子膜材料の開発 ● 保土谷化学工業研究企画賞：諸藤達也（学習院大学） (5+1)環化重合による遷移金属触媒フリーのπ共役高分子合成 ● 三井化学研究企画賞：福井識人（名古屋大学） 硫黄脱離反応により n 型有機半導体へと変化する可溶性前駆体の開発 ● 三菱ガス化学研究企画賞：田中裕也（東京工業大学） 金属錯体ドーピング法による高性能分子熱電材料の創出 ● 三菱ケミカル研究企画賞：青木大輔（東京工業大学） 環状のみからなる平衡反応を利用したトポロジカル有機化合物・高分子の合成 ● Meiji Seika ファルマ研究企画賞：中島誠也（千葉大学） 遷移金属触媒反応に新たな光を差し込む配位子の開発	研究企画賞 選考委員会
法人運営関連会議	
本部関連	
第 84 回通常総会(定期社員総会；2/17)	
運営委員会･理事会(1/26, 2/17, 4/14, 6/15, 9/13, 12/2)；Web 併用	
財務･予算委員会(11 月下旬, 1 月下旬；メール報告)；　分科会(実施なし)	
80 周年記念事業委員会(事業計画を審議；随時オンライン)	
令和 4 年度役員候補者選出委員会(10/25)；オンライン	
支部関連 【北海道支部】	
第 1 回幹事会；8/11；オンライン 議題：1.2021 年度支部マターについて；2.2020 年度の収支について；3.支部資金の本部移管について 4.若手シンポジウムについて；5.有機合成シンポジウム(各支部回り持ち)について	
支部関連 【関東支部】	
支部常任幹事会；4 回(4/16, 7/9)オンライン, (10/12, 12/15)Web 併用、支部幹事会；4/16；オンライン	
代議員選任･関東支部候補者推薦委員会；7/9；オンライン	
協会賞等支部推薦委員会；7/9；オンライン	
支部関連 【関西支部】	
幹事会；4 回（3/31, 5/19, 7/21, 11/9）；オンライン	

表 5･11　令和 3 年度事業報告（その 11）

事業の名称および事業の概要	担当機関
法人運営関連会議のつづき	
支部関連 【中国･四国支部】	
幹事会･懇話会合同会議；2 回（5/22, 11/20）；オンライン	
支部関連 【九州･山口支部】	
事務引継会；2/25；オンライン(参加者：R2/R3 幹事執行部、相談役、監査、事務局員)	
第 1 回幹事会；6/4；オンライン 議題：2020 年度事業報告；2020 年度会計決算報告；2021 年度事業計画；2021 年度予算案；その他	
第 2 回幹事会；11/19；山口大学常盤キャンパス+オンライン併用 議題：2021 年度中間事業報告；2021 年度中間会計報告；2022 年度事業計画；2022 年度予算案；その他	

事業報告附属明細書

令和 3 年度事業報告には「一般社団法人および一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

報告 2　令和 4 年度事業計画

令和 4 年度の編集・出版、研究会および表彰の各事業計画について、以下のとおり報告する。

表 6・1　令和 4 年度事業計画（その 1）

事業の名称・事業の概要	主催	共催・協賛
公 1・編集出版事業		
有機合成化学協会誌	本部	
80巻第1～12号(12冊)、発行部数4,500部／月、年間総ページ1,400 普通号10回；特集号　2回 第 5号「金属錯体が拓く有機合成」 第11号　Special Issue in English		
単行本の編集・出版	本部	
随時		
公 1 関連会議		
有機合成化学協会誌編集委員会(日時未定；6回)	本部	
出版委員会(日時未定；3回)	本部	
公 2・研究会事業		
シンポジウム		
第120回有機合成シンポジウム(6月28-29日；北海道大学学術交流会館) [または、同29-30日；北海道大学レクチャーホール(鈴木章ホール)]	本部	
第121回有機合成シンポジウム(11月8-9日；早稲田大学国際会議場)	本部	
万有札幌シンポジウム(7月・場所未定)	他学会	北海道支部
日本化学会北海道支部夏季研究発表会(日時・場所未定)	他学会	北海道支部
若手研究者のための有機化学札幌セミナー(11月；場所未定)	北海道支部	
仙台地区春の講演会(5月または6月；場所未定)	東北支部	
青森地区講演会(日時・場所未定)	東北支部	
山形地区講演会(日時・場所未定)	東北支部	
若手研究者のための仙台セミナー(11月または12月；場所未定)	東北支部	
仙台セミナー賞受賞者への有機合成シンポジウム参加支援事業(6月、11月)	東北支部	
万有仙台シンポジウム(5月または6月)	他学会	東北支部
化学系学協会東北支部大会(9月)	他学会	東北支部
有機化学コロキウム(9月)	他学会	東北支部
第82回有機合成化学協会関東支部シンポジウム(横浜シンポジウム) (5月21日；横浜国立大学)	関東支部	
第83回有機合成化学協会関東支部シンポジウム(新潟シンポジウム) (11月；新潟薬科大学)	関東支部	
有機合成化学ミニシンポジウム①(4月；場所未定)	関東支部	
有機合成化学ミニシンポジウム②(7月；東海大学)	関東支部	
有機合成化学ミニシンポジウム③(日時未定；千葉大学)	関東支部	
有機合成化学ミニシンポジウム④(10月または11月；東京都立大学)	関東支部	
合同ミニシンポジウム「学生シンポジウム－地上の星を探せ－」(日時・場所未定)	関東支部	
若手研究者のためのセミナー(7月；東京大学薬学系総合研究棟 2 階講堂)	関東支部	
有機合成セミナー(6月；愛知)	東海支部	
有機合成化学総合講演会(12月：長野)	東海支部	
若手研究者のためのセミナー(7月；静岡)	東海支部	
第53回中化連秋季大会(日時未定；愛知工業大学)	他学会	東海支部
第53回中化連秋季大会特別討論会(日時未定；愛知工業大学)	他学会	東海支部

表 6･2 令和 4 年度事業計画（その 2）

事業の名称・事業の概要	主催	共催・協賛
公 2・研究会事業(つづき)		
シンポジウム		
第42回有機合成若手セミナー「明日の有機合成を担う人のために」(若手研究者のためのセミナー)：8月上旬頃、立命館大学	関西支部	
有機合成北陸セミナー＜福井県＞(10月頃；センチュリオンホテル)	関西支部	
若手研究者のためのセミナー(第36回若手化学者のための化学道場) (世話人：岡山大学；日時・場所未定)	中国四国支部	
第38回有機合成化学セミナー (9月28-30日；福岡県北九州市；アクティブリゾーツ福岡八幡)	九州山口支部	本部
第34回若手研究者のためのセミナー (8月20日または27日；九州大学病院キャンパスコラボ・ステーションⅠ)	九州山口支部	
講習会		
2022年度前期有機合成化学講習会(6月下旬・オンライン)	本部	
2022年度後期有機合成化学講習会(日時・場所未定)	本部	
「AIと有機合成化学」研究部会：勉強会2回(第9回、第10回；日時・場所未定)	本部	
「ニューモダリティーと有機合成化学」研究部会：勉強会2回 (第7回、第8回；日時・場所未定)	本部	
有機合成2月セミナー"有機合成のニュートレンド2022"(2月3日；オンライン)	関西支部	
有機合成夏期セミナー"明日の有機合成化学"(8月下旬頃・場所未定)	関西支部	
懇談会		
有機合成化学懇談会(日時・場所未定)	本部	
2022新春特別フォーラム(1月19日；ワイム会議室/オンラインハイブリッド開催)	本部	関東支部
中堅・若手リーダーのためのYUGOKAF e (講演＆討論会)：(日時未定；化学会館)	本部	
「AIと有機合成化学」第5回公開講演会(日時・場所未定)	本部	
「ニューモダリティーと有機合成化学」第2回公開講演会(日時・場所未定)	本部	
学生のためのセミナー(企業の若手研究者との討論・交流会)第7弾： (日時未定；化学会館)	本部	
海外・国内化学者講演会：随時	北海道支部	
第18回有機合成化学談話会(湯河原セミナー) (9月下旬；富士フイルム和光純薬㈱湯河原研修所)	関東支部	
訪日学者講演会(10件；日時・場所未定)	東海支部	
有機合成新春講演会(1月17日；オンライン)	関西支部	
セミナー化学千一夜"明日の化学への夢を語ろう"(6月頃・場所未定)	関西支部	
第81回パネル討論会(5月；広島大学)	中国四国支部	
第82回パネル討論会または有機合成ミニシンポジウム2022(日時・場所未定)	中国四国支部	
来日学者講演会(10件；随時)	中国四国支部	
第19回ナノ・バイオ・インフォ化学シンポジウム(日時未定；広島大学)	他学会	中国四国支部
第1回有機合成化学講演会(6月3日；九州大学病院キャンパス)	九州山口支部	
第59回化学関連支部合同九州大会(7月2日；北九州国際会議場)	他学会	九州山口支部
来日学者講演会(最大4件)	九州山口支部	
見学会		
有機合成見学会(日時・場所未定)	本部	
公 2 関連会議		
有機合成化学協会事業委員会(5回；3月、5月、7月、10月、12月)	本部	
有機合成化学シンポジウムプログラム編成会議(2回)	本部	

表 6･3 令和 4 年度事業計画（その 3）

事業の名称・事業の概要	主催	共催・協賛
公２関連会議(つづき)		
有機合成化学講習会企画委員会(2回)	本部	
その他WG会議(2回)	本部	
有機合成化学談話会(湯河原セミナー)企画委員会(日時未定；1回)	関東支部	
公３．表彰事業	担当組織	
有機合成化学特別賞関連		
理事による予備投票(6～8月郵便)；委員会による選考(10月)	協会賞等選考委員会	
有機合成化学協会賞・奨励賞関連		
各支部推薦委員会(～7月)	各支部	
協会賞(技術)・奨励賞書面審査(7月；郵便)	協会賞等選考委員会	
協会賞(学術/技術)・奨励賞選考委員会(10月)	協会賞等選考委員会	
Mukaiyama Award関連会議		
Mukaiyama Award委員会(選考委員会)	Mukaiyama Award委員会	
企業冠賞関連		
カネカ「生命科学賞」書面審査(郵便)	左記選考委員会	
塩野義製薬「低分子創薬化学賞」書面審査(郵便)	左記選考委員会	
東ソー「環境エネルギー賞」書面審査(郵便)	左記選考委員会	
日産化学「有機合成新反応/手法賞」書面審査(郵便)	左記選考委員会	
富士フイルム「機能性材料化学賞」書面審査(郵便)	左記選考委員会	
令和3年度企業冠賞講演会(2021年度受賞講演)(日時・場所未定)	本部	
高砂香料国際賞「野依賞」関連		
野依賞委員会(選考委員会)	野依賞委員会	
支部表彰		
第20回支部賞授賞講演会(日時・場所未定)	関西支部	
有機合成化学特別講演会(支部奨励賞受賞講演並びに特別招待講演会)(11月；岡山大学)	中国四国支部	
支部各賞選考委員会(6月3日；九州大学病院キャンパス)	九州山口支部	
第32回万有福岡シンポジウム(6月4日；九州大学椎木講堂もしくは百年講堂)	他学会・九州山口支部	
第2回有機合成化学講演会・支部各賞表彰式(10月-11月上旬；九州大学伊都キャンパス)	九州山口支部	
他１(共益事業)		
技術アドバイス事業	本部	
ゆうごう会(日時未定：東京、大阪各1回)	本部	
海外視察団派遣(日時・場所未定)	本部	
研究企画賞		
研究企画賞選考委員会	研究企画賞選考委員会	
法人運営関連会議		
本部関連		
第85回通常総会(定期社員総会；2月16日)	本部	
運営委員会、理事会、理事会分科会(1,2,4,6,9,12月)	本部	
令和5年度役員候補者選出委員会(10月)	本部	
創立80周年記念事業委員会(組織委員会･実行委員会･出版委員会･財務委員会)	本部	

表 6･4　令和 4 年度事業計画（その 4）

事業の名称･事業の概要	担当組織
法人運営関連会議(つづき)	
支部関連	
第1回幹事会(7月･場所未定)	北海道支部
第2回幹事会(11月･場所未定)	北海道支部
第1回常任幹事会･第1回幹事会(4月；場所未定)	関東支部
第2回常任幹事会(7月；場所未定)	関東支部
第3回常任幹事会(10月；場所未定)	関東支部
第4回常任幹事会(12月；場所未定)	関東支部
協会賞等支部推薦委員会(7月；場所未定)	関東支部
常任幹事会(2月；名古屋)	東海支部
支部総会(日時未定；愛知工業大学)	東海支部
支部奨励賞選考委員会(4月；メール会議)	東海支部
協会賞等支部推薦委員会(日時未定；メール会議)	東海支部
第1回幹事会(3月上旬頃、場所未定)	関西支部
第2回幹事会(4月下旬頃、場所未定)	関西支部
第3回幹事会(7月中旬頃、場所未定)	関西支部
第4回幹事会(11月頃、場所未定)	関西支部
2022年度第1回幹事会･懇話会合同会議(5月；広島大学)	中国四国支部
2022年度第2回幹事会･懇話会合同会議(11月；岡山大学)	中国四国支部
事務引継会(日時･場所未定)	九州山口支部
第1回幹事会(6月3日；九州大学病院キャンパス)	九州山口支部
第2回幹事会(10月-11月上旬；九州大学伊都キャンパス)	九州山口支部

報告 3　　令和 4 年度収支予算

令和 4 年度収支予算を表 7･1～7･3 に示す。収支予算の内訳は以下の通り(前年度予算比)。

1）会費収入▲906 千円：個人会員数の落ち込み抑制と学生会員数の回復を計画

2）編集出版事業

収益+435 千円：協会誌の広告特集を計画

費用▲215 千円：協会誌の送達費の減少を計上

3）研究会事業

収益+3,972 千円：全事業実施の計画で計上

費用+4,085 千円：全事業実施の計画で計上

4）退職給付費用(積立金)▲2,739 千円：必要額満額を計上

5）会議費と旅費交通費：80 周年記念事業関連の費用を計上

6）雑費(IT 関連費)：本部会計ソフト買替費用 1,000 千円を計上(現行製品終了のため)

7）懇親会は新型コロナウイルス感染症の継続を想定し規模縮小で計画

表 7･1　令和４年度正味財産増減予算書

令和4年1月1日から令和4年12月31日まで　　（単位：円）

	科　目	令和4年度 A	【参考】令和3年度 予算 B	【参考】令和3年度 決算 C	増減 D A-B	増減 E A-C
Ⅰ	一般正味財産増減の部					
	１．経常増減の部					
	（１）経常収益					
	【特定資産運用益】					
	特定資産受取利息	805,500	805,500	784,995	0	20,505
	退職給付特定資産受取利息	7,000	3,000	582	4,000	6,418
	【受取会費】					
	正会員受取会費	64,747,500	65,653,400	64,642,000	▲ 905,900	105,500
	【事業収益】					
	編集出版事業収益	12,926,700	12,491,700	13,144,387	435,000	▲ 217,687
	研究会事業収益	35,834,000	31,862,000	10,040,015	3,972,000	25,793,985
	表彰事業収益	8,100,000	8,200,000	7,800,000	▲ 100,000	300,000
	【受取寄付金】					
	受取寄付金	6,350,000	6,350,000	3,709,547	0	2,640,453
	【雑収益】					
	受取利息	2,816	2,813	818	3	1,998
	雑収益	50,000	50,000	85,000	0	▲ 35,000
	懇親会参加料収益	2,030,000	1,510,000	0	520,000	2,030,000
	経常収益計	130,853,516	126,928,413	100,207,344	3,925,103	30,646,172
	（２）経常費用					
	【事業費および管理費】					
	編集出版事業費	24,895,272	25,110,347	22,310,844	▲ 215,075	2,584,428
	研究会事業費	36,732,314	32,647,544	10,840,522	4,084,770	25,891,792
	表彰事業費	13,502,377	13,909,277	10,764,859	▲ 406,900	2,737,518
	給料手当	29,040,142	28,224,348	28,554,282	815,794	485,860
	アルバイト費	2,560,000	2,510,000	2,505,002	50,000	54,998
	退職給付費用	3,161,146	5,900,000	5,900,582	▲ 2,738,854	▲ 2,739,436
	その他人件費（福利厚生費）	6,357,070	5,984,425	5,994,897	372,645	362,173
	会議費	1,335,000	1,335,000	678,859	0	656,141
	旅費交通費	3,465,000	3,865,000	509,492	▲ 400,000	2,955,508
	通信費	1,346,500	1,346,500	666,325	0	680,175
	什器備品費	200,000	700,000	384,230	▲ 500,000	▲ 184,230
	事務用品･リース費	2,000,000	2,000,000	1,336,925	0	663,075
	水道光熱費	290,000	290,000	124,104	0	165,896
	事務所賃借料	4,928,988	4,826,890	4,826,890	102,098	102,098
	諸謝金	1,200,000	1,200,000	1,210,000	0	▲ 10,000
	懇親会費	3,880,000	3,170,000	0	710,000	3,880,000
	雑費（税･手数料･会費･IT）	6,464,300	5,301,500	6,360,436	1,162,800	103,864
	経常費用計	141,358,109	138,320,831	102,968,249	3,037,278	38,389,860
	当期経常増減額	▲ 10,504,593	▲ 11,392,418	▲ 2,760,905	887,825	▲ 7,743,688
	２．経常外増減の部					
	経常外収益	0	0	0	0	0
	経常外費用	0	0	0	0	0
	当期経常外増減額	0	0	0	0	0
	一般正味財産増減額	▲ 10,504,593	▲ 11,392,418	▲ 2,760,905	887,825	▲ 7,743,688
	一般正味財産期首残高	303,419,649	306,180,554	306,180,554	▲ 2,760,905	▲ 2,760,905
	一般正味財産期末残高	292,915,056	294,788,136	303,419,649	▲ 1,873,080	▲ 10,504,593
Ⅱ	指定正味財産増減の部					
	【特定資産運用益】野依賞基金					
	特定資産受取利息	50	50	49	0	1
	受取寄付金	4,000,000	4,000,000	4,000,000	0	0
	一般正味財産への振替額	▲ 4,000,000	▲ 4,000,000	▲ 2,013,984	0	▲ 1,986,016
	当期指定正味財産増減額	50	50	1,986,065	0	▲ 1,986,015
	指定正味財産期首残高	8,271,541	6,285,476	6,285,476	1,986,065	1,986,065
	指定正味財産期末残高	8,271,591	6,285,526	8,271,541	1,986,065	50
	【特定資産運用益】Mukaiyama Award基金					
	特定資産受取利息	100	100	65	0	35
	受取寄付金	0	0	0	0	0
	一般正味財産への振替額	▲ 1,200,000	▲ 1,200,000	▲ 888,586	0	▲ 311,414
	当期指定正味財産増減額	▲ 1,199,900	▲ 1,199,900	▲ 888,521	0	▲ 311,379
	指定正味財産期首残高	5,493,899	6,382,420	6,382,420	▲ 888,521	▲ 888,521
	指定正味財産期末残高	4,293,999	5,182,520	5,493,899	▲ 888,521	▲ 1,199,900
Ⅲ	正味財産期末残高	305,480,646	306,256,182	317,185,089	▲ 775,536	▲ 11,704,443

※ここでの前年対比は令和3年度期首予算（新型コロナの影響を含まない、補正前の予算）

表 7･2　令和４年度正味財産増減予算書内訳表(１／2)

（令和4年1月1日から令和4年12月31日まで）　　（単位：円）

科　目	公益目的事業会計				その他事業	法人会計	合 計
	公1 編集･出版	公2 研究会	公3 表 彰	公益事業共通			
【一般正味財産増減の部】							
１．経常増減の部							
経常収益計	12,929,700	34,596,500	13,000,000	51,150,525	5,432,425	13,744,366	130,853,516
特定資産運用益	3,000	2,500	800,000	0	0		805,500
編集出版特定資産受取利息	3,000						
研究会特定資産受取利息		2,500					
表彰特定資産受取利息			800,000				
退職特定資産受取利息	0	0	0	0	0	7,000	7,000
受取会費				51,150,525	1,942,425	11,654,550	64,747,500
個人会員費受取会費				26,267,500	997,500	5,985,000	33,250,000
法人会員費受取会費				22,996,900	873,300	5,239,800	29,110,000
団体会員費受取会費				126,400	4,800	28,800	160,000
学生会員費受取会費				1,759,725	66,825	400,950	2,227,500
事業収益	12,926,700	33,444,000	7,000,000	0	3,490,000		56,860,700
編集出版事業収益	12,926,700						12,926,700
会誌事業収益	3,726,000						3,726,000
広告事業収益	8,700,000						8,700,000
別冊事業収益	35,000						35,000
会誌関係雑収益	70,000						70,000
単行本印税収益	150,000						150,000
複写権使用料収益	245,700						245,700
研究会事業収益		33,444,000			2,390,000		35,834,000
シンポジウム事業収益		19,377,000					19,377,000
講習会事業収益		9,145,000					9,145,000
懇談会事業収益		4,672,000			240,000		4,912,000
見学会事業収益		250,000			2,150,000		2,400,000
表彰事業収益			7,000,000	0	1,100,000		8,100,000
企業冠賞事業収益			7,000,000	0			7,000,000
研究企画賞事業収益					1,100,000		1,100,000
その他表彰事業収益							0
寄付金収益		1,150,000	5,200,000	0		0	6,350,000
受取寄付金		1,150,000	5,200,000	0			6,350,000
雑収益		0				2,082,816	2,082,816
受取利息		0				2,816	2,816
雑収益		0				50,000	50,000
懇親会参加料収益						2,030,000	2,030,000
経常費用	44,588,366	58,693,616	19,254,728		5,474,364	13,347,035	141,358,109
事業費	44,588,366	58,693,616	19,254,728		5,474,364		128,011,074
編集出版事業費	24,895,272						24,895,272
印刷製本費	11,645,991						11,645,991
用紙費	3,550,491						3,550,491
原稿料･校正費	596,000						596,000
編集費	843,715						843,715
送達費	7,049,475						7,049,475
別冊作成費	283,500						283,500
電子出版費	926,100						926,100
研究会事業費		34,323,314			2,409,000		36,732,314
シンポジウム費		20,516,200					20,516,200
講習会費		6,341,314					6,341,314
懇談会費		3,866,200			259,000		4,125,200
見学会事業費		250,000			2,150,000		2,400,000
研究会議費		508,600					508,600
事務委託費		2,631,000					2,631,000
支払寄付金		210,000					210,000
表彰事業費			13,379,077		123,300		13,502,377
表彰事業費			2,357,077				2,357,077
企業冠賞費用			5,822,000				5,822,000
研究企画賞費					123,300		123,300
国際賞費用			4,000,000				4,000,000
Mukaiyama Award事業費			1,200,000				1,200,000
給料手当	10,161,146	11,616,057	2,904,014		1,454,911		26,136,128
アルバイト費	995,328	1,137,664	284,416		142,592		2,560,000
退職給付費用	1,106,085	1,264,458	316,115		158,373		2,845,031
その他人件費（福利厚生費）	2,224,339	2,542,828	635,707		318,489		5,721,363
会議費	240,000	360,000	80,000		40,000		720,000
旅費交通費	618,000	927,000	206,000		103,000		1,854,000
通信費	360,000	540,000	120,000		60,000		1,080,000
什器備品費	60,000	90,000	20,000		10,000		180,000
事務用品･リース費	600,000	900,000	200,000		100,000		1,800,000
水道光熱費	87,000	130,500	29,000		14,500		261,000
事務所賃借料	1,478,696	2,218,045	492,899		246,449		4,436,089
雑費（税･手数料･会費･IT）	1,762,500	2,643,750	587,500		293,750		5,287,500

表 7･3　令和 4 年度正味財産増減予算書内訳表(2／2)

	科　目	公益目的事業会計				その他事業	法人会計	合 計
		公1 編集･出版	公2 研究会	公3 表 彰	公益事業共通			
73	管理費						13,347,035	13,347,035
74	給料手当						2,904,014	2,904,014
75	退職給付費用						316,115	316,115
76	その他人件費（福利厚生費）						635,707	635,707
77	懇親会費用						3,880,000	3,880,000
78	会議費						615,000	615,000
79	旅費交通費						1,611,000	1,611,000
80	通信費						266,500	266,500
81	什器備品費						20,000	20,000
82	事務用品･リース費						200,000	200,000
83	水道光熱費						29,000	29,000
84	事務所賃借料						492,899	492,899
85	諸謝金						1,200,000	1,200,000
86	雑費（税･手数料･会費･IT）						1,176,800	1,176,800
87	当期経常増減額	▲ 31,658,666	▲ 24,097,116	▲ 6,254,728	51,150,525	▲ 41,939	397,331	▲ 10,504,593
88	2．経常外増減の部							
89	経常外収益	0	0	0	0	0	0	0
90	計上外費用	0	0	0	0	0	0	0
91	当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
92	3．一般正味財産増減額							
93	一般正味財産期首残高							303,419,649
94	一般正味財産期末残高							292,915,056
95	当期一般正味財産増減額							▲ 10,504,593
96	【指定正味財産増減の部】							
97	1．高砂香料国際賞「野依賞」基金							
98	指定正味財産運用益			50				50
99	特定資産受取利息			50				50
100	受取寄付金			4,000,000				4,000,000
101	一般正味財産への振替額			▲ 4,000,000				▲ 4,000,000
102	指定正味財産期首残高			8,271,541				8,271,541
103	指定正味財産期末残高			8,271,591				8,271,591
104	2．Mukaiyama Award基金							
105	指定正味財産運用益			▲ 1,199,900				▲ 1,199,900
106	特定資産受取利息			100				100
107	受取寄付金							0
108	一般正味財産への振替額			▲ 1,200,000				▲ 1,200,000
109	指定正味財産期首残高			5,493,899				5,493,899
110	指定正味財産期末残高			4,293,999				4,293,999
111	【正味財産期末残高】							
112	正味財産期末残高							305,480,646

報告 4　永年会員昇格者

会員規程第 4 条により、満 75 歳で 20 年連続在籍者を令和 4 年度より永年会員とする（入会順；敬称略)。

服部 兆隆	萩原 久大	檜山 爲次郎	宍戸 宏造	小中原 猛雄	竹平 喜和
酒井 貴志	川島 隆幸	淵上 壽雄	伊與田 正彦	田口 武夫	阿部 憲孝
西郷 和彦	増田 慎治	松村 秀一	宮浦 憲夫	松原 幸夫	行本 裕介
吉藤 茂行	後藤 達乎	黒田 重靖			

以上 21 名

その他議案があれば挙手の上ご報告ください。

以上

付表1　令和3年度決算の構成

(単位：円)

科　目	連結	本部	支部合計	支部会計						
				北海道	東北	関東	東海	関西	中国・四国	九州・山口
Ⅰ一般正味財産増減の部										
1．経常増減の部										
（1）経常収益										
【特定資産運用益】　特定資産受取利息	784,995	784,995								
【退職給付特定資産運用益】	582	582								
【受取会費】　正会員受取会費	64,642,000	64,642,000								
【事業収益】　編集出版事業収益	13,144,387	13,144,387								
研究会事業収益	10,040,015	5,789,500	4,250,515			310,000		1,087,500	2,853,015	
表彰事業収益	7,800,000	7,800,000								
【受取寄付金】　受取寄付金	3,709,547	2,979,547	730,000					130,000		600,000
【雑収益】　受取利息	818	497	321	23	50	102	38	53	22	33
雑収益	85,000	85,000								
懇親会参加料収入										
経常収益計	100,207,344	95,226,508	4,980,836	23	50	310,102	38	1,217,553	2,853,037	600,033
（2）経常費用【事業費・管理費】										
編集出版事業費	22,310,844	22,310,844								
研究会事業費	8,359,915	3,800,760	4,559,155	67,785	298,526	1,341,944	284,292	910,467	1,359,951	296,190
事務委託費	2,340,607		2,340,607				301,000	1,673,186		366,421
支払寄付金	140,000		140,000	50,000	90,000					
表彰事業費	10,764,859	10,627,518	137,341		4,920		24,420	40,027	55,974	12,000
給料手当	28,554,282	28,554,282								
アルバイト費	2,505,002	2,505,002								
その他人件費	5,994,897	5,994,897								
退職給付費用	5,900,582	5,900,582								
懇親会費										
会議費	678,859	589,852	89,007			43,137		15,600		30,270
旅費交通費	509,492	344,028	165,464			3,444		7,400		154,620
通信費	666,325	599,174	67,151	2,926	1,850	4,739	7,570	16,842	6,914	26,310
什器備品費	384,230	384,230								
事務用品・リース費	1,336,925	1,336,925								
水道光熱費	124,104	124,104								
事務所賃借料	4,826,890	4,826,890								
諸謝金	1,210,000	1,210,000								
雑費	6,360,436	5,816,948	543,488	33,930	39,380	31,350	37,828	308,293	43,757	48,950
経常費用計	102,968,249	94,926,036	8,042,213	154,641	434,676	1,424,614	655,110	2,971,815	1,466,596	934,761
当期経常増減額	▲ 2,760,905	300,472	▲ 3,061,377	▲ 154,618	▲ 434,626	▲ 1,114,512	▲ 655,072	▲ 1,754,262	1,386,441	▲ 334,728
2．経常外増減の部										
経常外収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3．内部取引（他会計振替額）										
本部会計への繰入額										
事務委託費（関東支部会計より）	0	361,885	▲ 361,885			▲ 361,885				
繰入額計	0	361,885	▲ 361,885			▲ 361,885				
本部会計からの繰出額（支部会計へ）										
支部割当金	0	▲ 6,853,000	6,853,000	260,000	499,000	1,771,000	759,000	2,046,000	759,000	759,000
若手セミナー討論会	0	▲ 720,000	720,000	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000		120,000
有機合成化学セミナー	0	▲ 550,000	550,000						550,000	
新春フォーラム;春シンポジウム配分	0									
繰出額計	0	▲ 8,123,000	8,123,000	380,000	619,000	1,891,000	879,000	2,166,000	1,309,000	879,000
一般正味財産増減額	▲ 2,760,905	▲ 7,460,643	4,699,738	225,382	184,374	414,603	223,928	411,738	2,695,441	544,272
一般正味財産期首残高	306,180,554	268,015,457	38,165,097	3,806,196	8,225,562	11,189,062	4,075,143	4,928,229	2,273,339	3,667,566
一般正味財産期末残高	303,419,649	260,554,814	42,864,835	4,031,578	8,409,936	11,603,665	4,299,071	5,339,967	4,968,780	4,211,838
Ⅱ 指定正味財産増減の部										
高砂香料国際賞「野依賞」基金										
【特定資産運用益】										
特定資産受取利息	49	49								
受取寄付金	4,000,000	4,000,000								
一般正味財産への振替額	▲ 2,013,984	▲ 2,013,984								
当期指定正味財産増減額	1,986,065	1,986,065								
指定正味財産期首残高	6,285,476	6,285,476								
指定正味財産期末残高	8,271,541	8,271,541								
Mukaiyama Award基金										
【特定資産運用益】										
特定資産受取利息	65	65								
受取寄付金										
一般正味財産への振替額	▲ 888,586	▲ 888,586								
当期指定正味財産増減額	▲ 888,521	▲ 888,521								
指定正味財産期首残高	6,382,420	6,382,420								
指定正味財産期末残高	5,493,899	5,493,899								
Ⅲ 正味財産期末残高	317,185,089	274,320,254	42,864,835	4,031,578	8,409,936	11,603,665	4,299,071	5,339,967	4,968,780	4,211,838